

2024年3月期 第2四半期決算 投資家向け説明会

2023年11月9日

ソフトバンクグループ株式会社

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

また、本資料は、Arm Holdings p l cが発行する証券の購入または応募の申込み、またはその勧誘を構成するものではありません。あらゆる証券の購入または応募の申込み、またはその勧誘は、1933年米国証券法（改正法も含む）およびその他の適用証券取引関連法令に従い登録制に基づき行われます。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor) をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やLINEヤフー株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」）、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」）及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」）を含みます。SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4
1米ドル	129.04	138.68	141.16	133.26	138.11	145.44		
期末レート	2022/6月末	2022/9月末	2022/12月末	2023/3月末	2023/6月末	2023/9月末	2023/12月末	2024/3月末
1米ドル				133.53		149.58		

略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。なお、企業名から「株式会社」や「(株)」を省略している箇所がある。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.
LatAmファンド または ラテンアメリカ・ファンド	SBLA Latin America Fund LLC
SVF	SVF1、SVF2およびLatAmファンド
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
SBGA	SB Global Advisers Limited
SBGC	SoftBank Group Capital Limited
Tモバイル	スプリントと合併後のT-Mobile US, Inc.
ドイツテレコム	Deutsche Telekom AG
Arm または アーム	Arm Holdings plcまたはArm Limited*
アリババ	Alibaba Group Holding Limited

* 2023年8月にArm Limitedの子会社であったArm Holdings LimitedがArm Limitedの発行済普通株式の全てを取得し、同社を完全子会社化する組織再編が行われた。その後、Arm Holdings Limitedは社名をArm Holdings plcに変更し、2023年9月14日に新規株式公開でNasdaq Global Select Marketへ上場。

その他

本資料において端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。

財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK（Zホールディングス(現LINEヤフー)およびPayPayをはじめとする子会社を含む）、SVF1、SVF2、LatAmファンド、アーム等です。

NASDAQ上場

2023年9月14日

arm

上場時時価総額*1

\$52B
(7.8兆円*2)

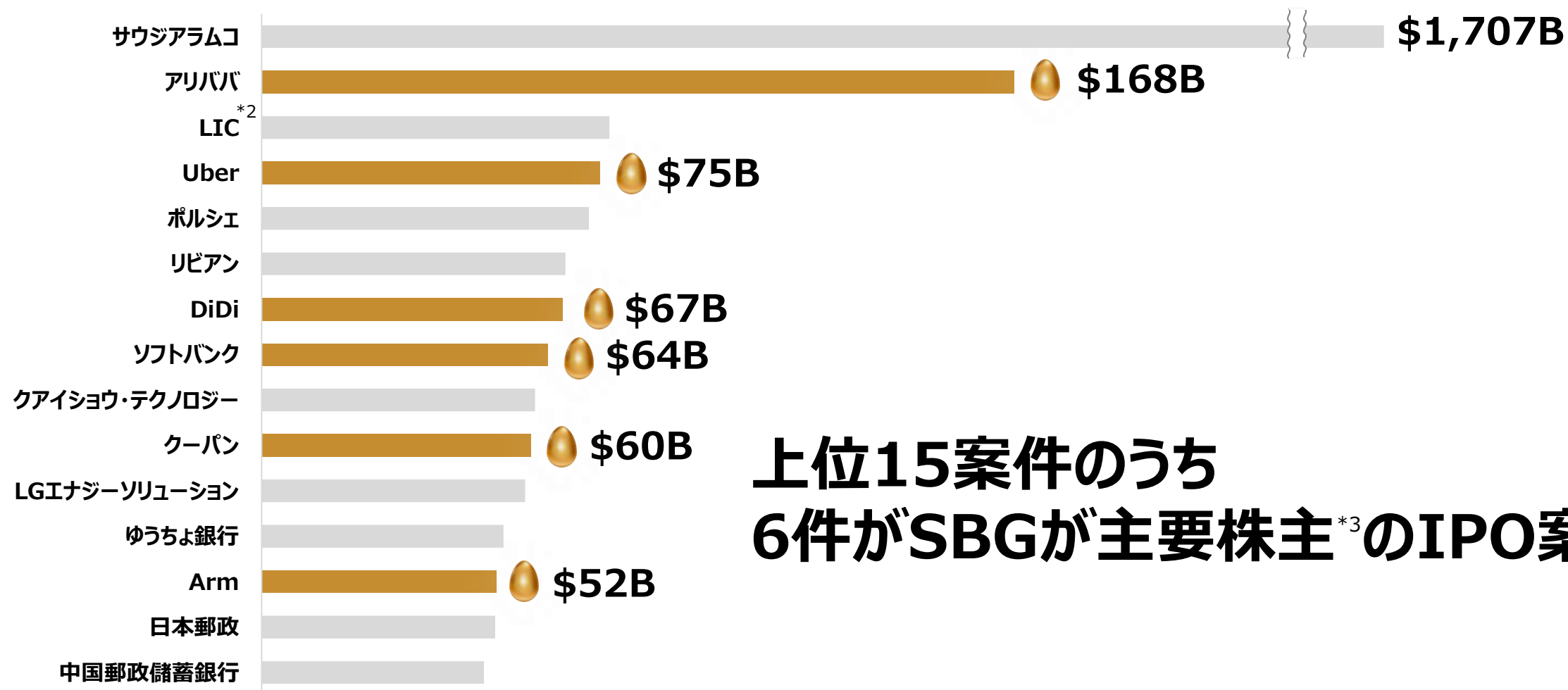
*1 2023年9月末のArmの発行済株式総数（希薄化前。自己株式を除く）1,025,234,000株に1ADS当たり公開価格を乗じて算出

*2 1ドル=149.58円にて換算

SoftBank Group = 金の卵の製造業



IPO時 時価総額グローバル上位15案件（過去10年間^{*1}）



上位15案件のうち
6件がSBGが主要株主^{*3}のIPO案件

（注） Bloomberg等のベンダーを基に当社作成

*1 2014年1月から2023年9月末までの10年間

*2 ライフ・インシュアランス・コーポレーション・オブ・インディアの略称

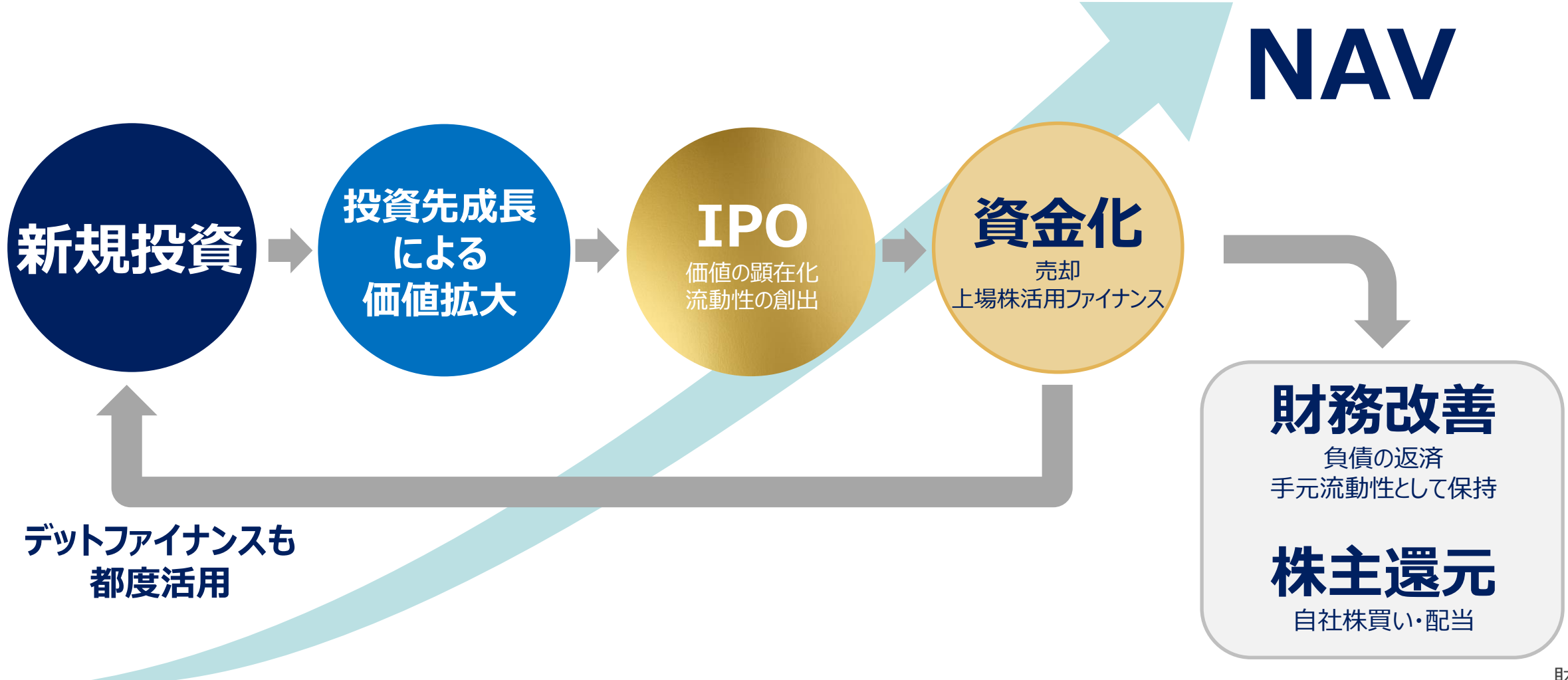
*3 上場時点でSBGおよび子会社が主要株主として関与

SBGの成長戦略

投資サイクルを繰り返しながらNAVを拡大

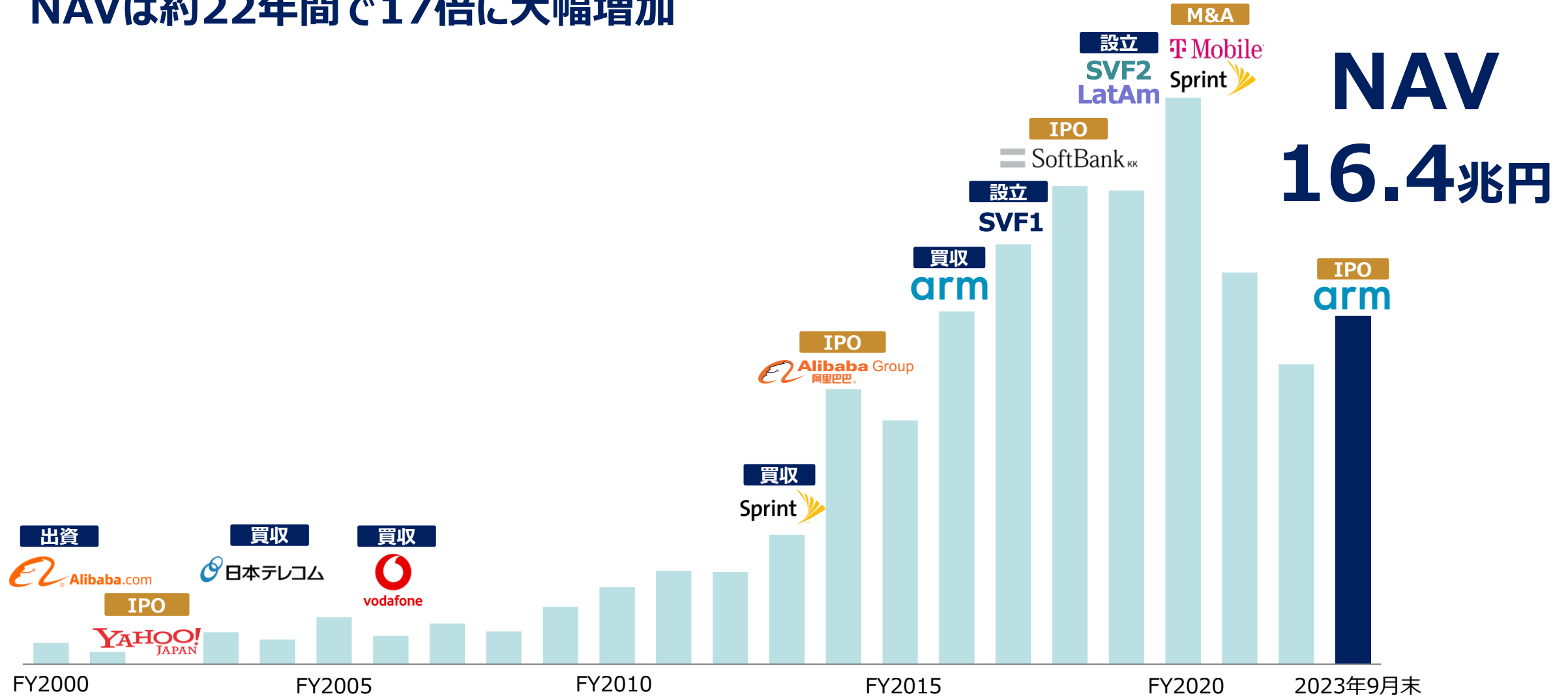
IPOはあくまで企業の成長の通過点

一方、価値の顕在化および資金化の柔軟性を高めるうえで有効



NAVの推移

アリババ、ボーダフォン日本法人などの投資の成功が更なる再投資に繋がり、NAVは約22年間で17倍に大幅増加



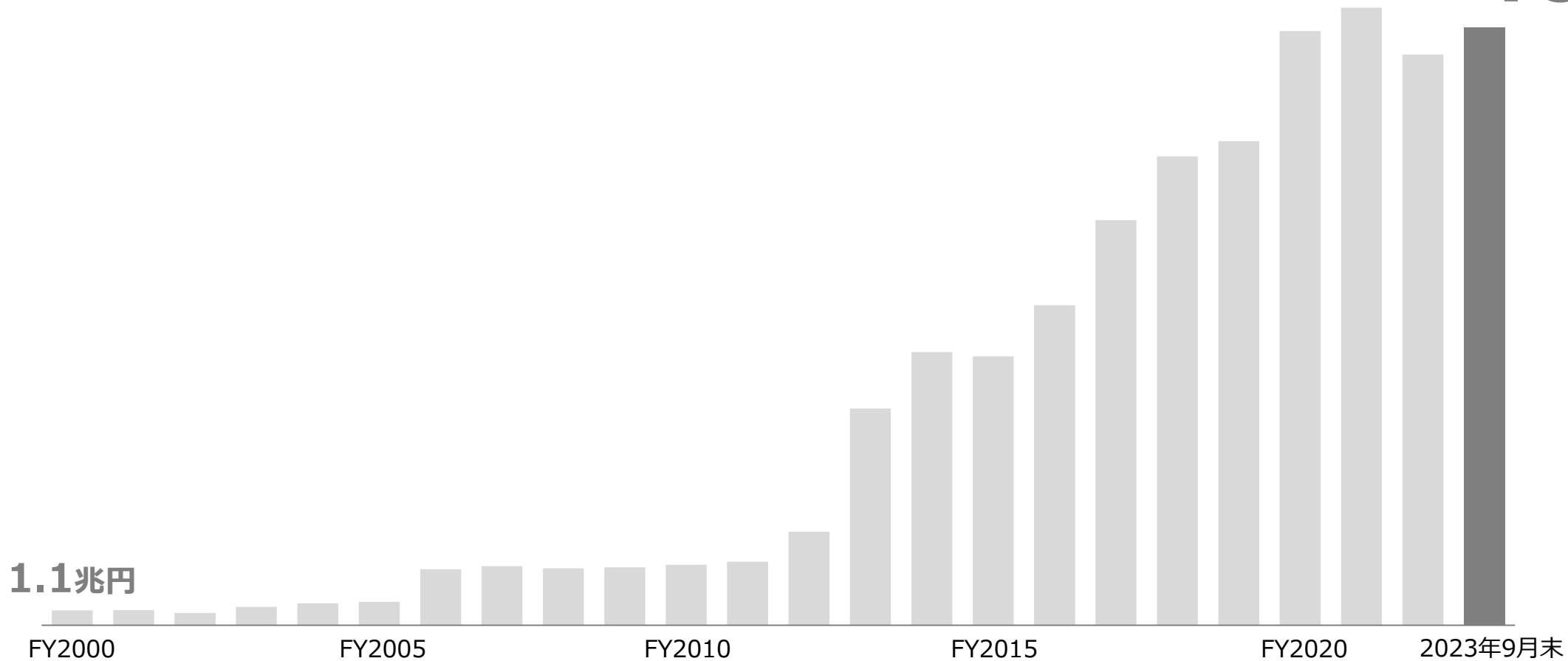
(注) FY2000からFY2022までは各年度末時点

- NAV (Net Asset Value : 時価純資産) = 調整後SBG単体保有株式価値 - 調整後SBG単体純有利子負債
- NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない。

連結総資産の推移

連結総資産も46兆円まで拡大

連結総資産
46.0兆円

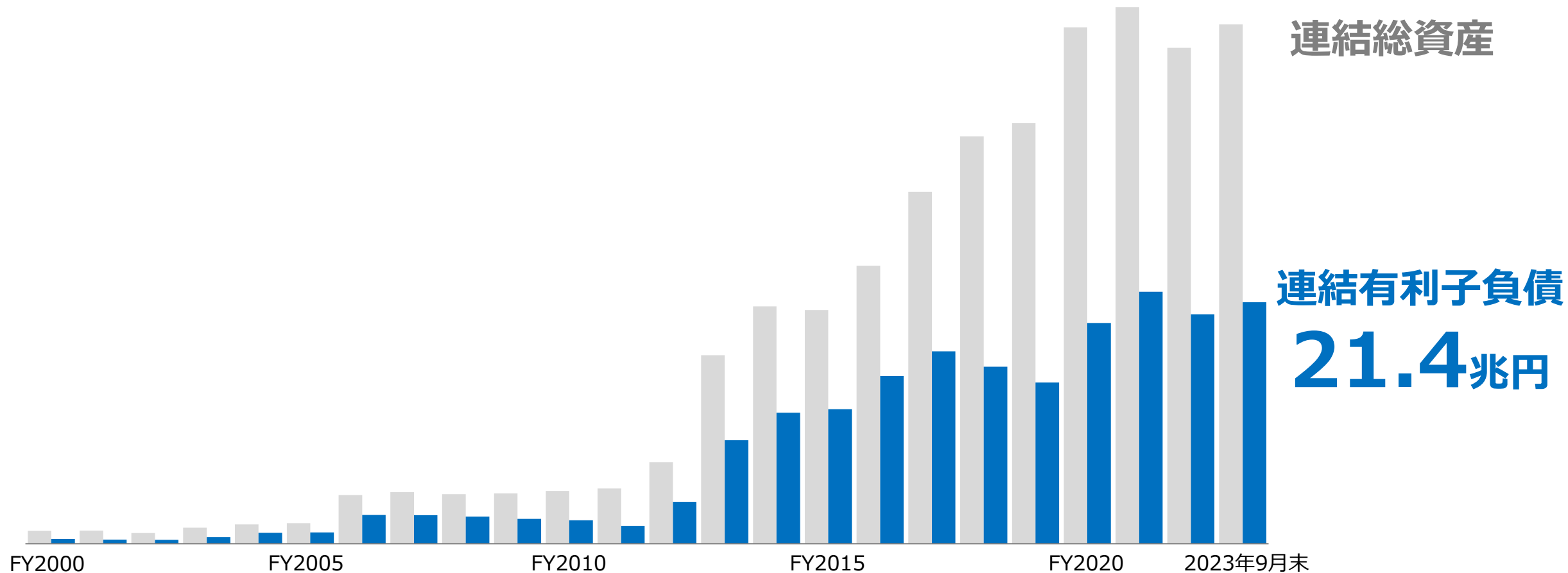


(注) FY2000からFY2022までは各年度末時点

連結有利子負債の推移

グループ全体としての最適なレバレッジを追求

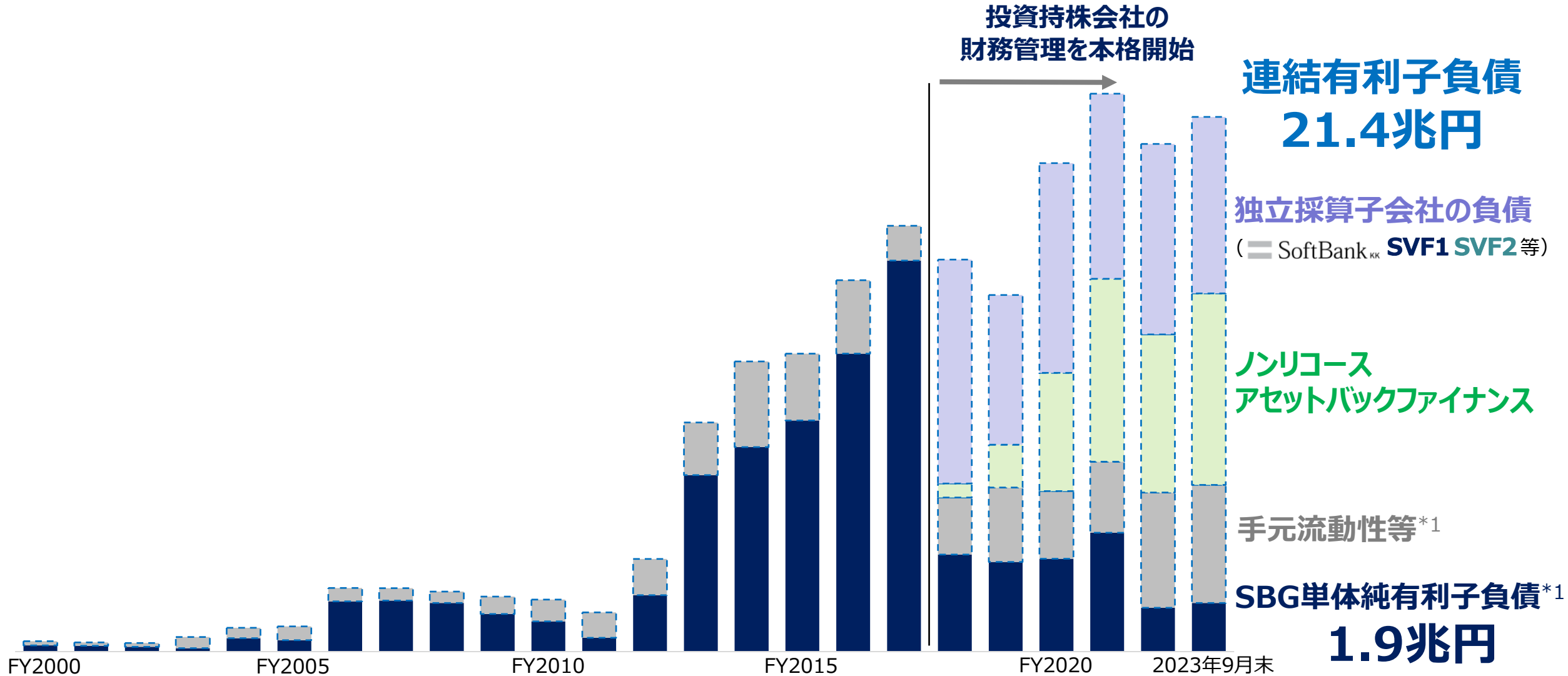
総資産の拡大とともに連結有利子負債（ノンリコース債務含む）は増加



(注) FY2000からFY2022までは各年度末時点

連結有利子負債の内訳

一方、SBGが返済義務を負うネットデットは低水準にとどまる

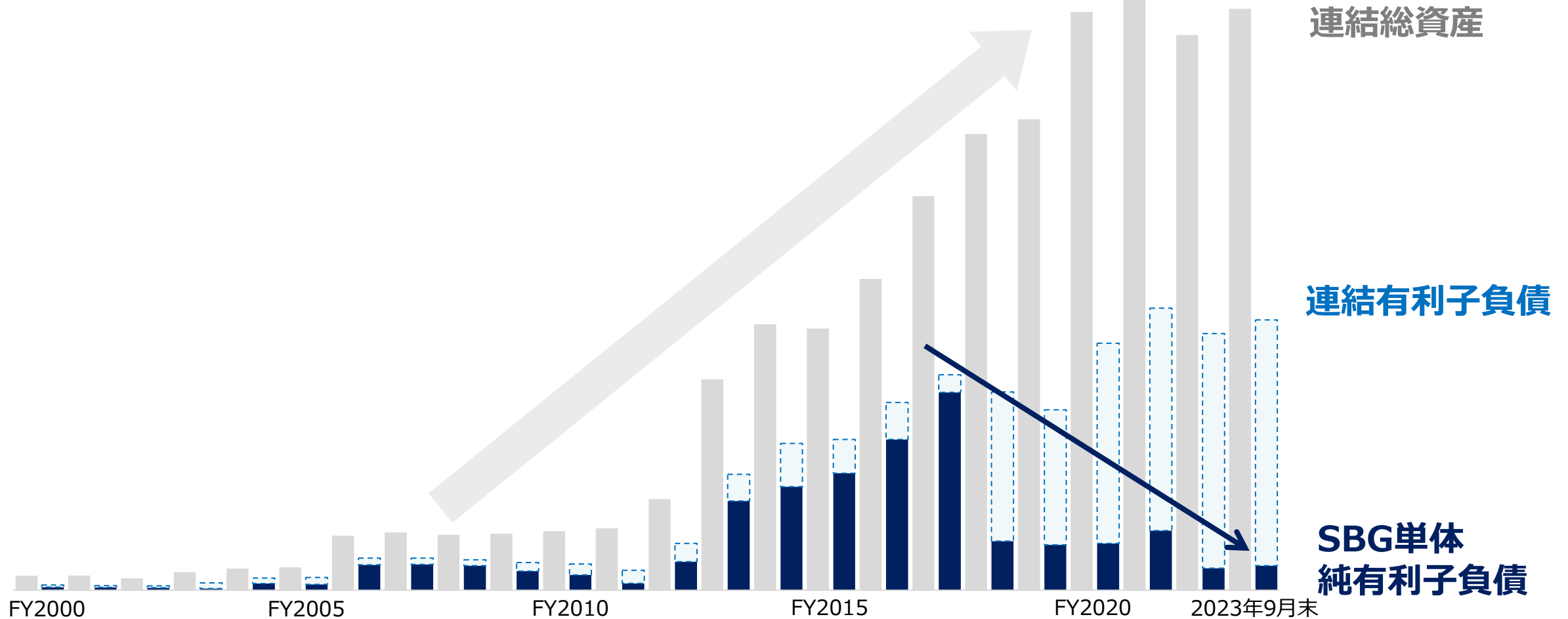


(注) FY2000からFY2022までは各年度末時点

^{*1} ハイブリッドファイナンス調整を含む (負債計上されているハイブリッド社債・ローンの50%を控除し、資本計上されているハイブリッド社債の50%を加算)

資産と負債の推移

**ノンリコース負債（調達）を財務レバレッジとして有効活用
（独立採算子会社のデット調達やアセットバックファイナンスなど）
当社の財務リスクを抑えながらグループ全体の成長を実現**



（注）FY2000からFY2022までは各年度末時点

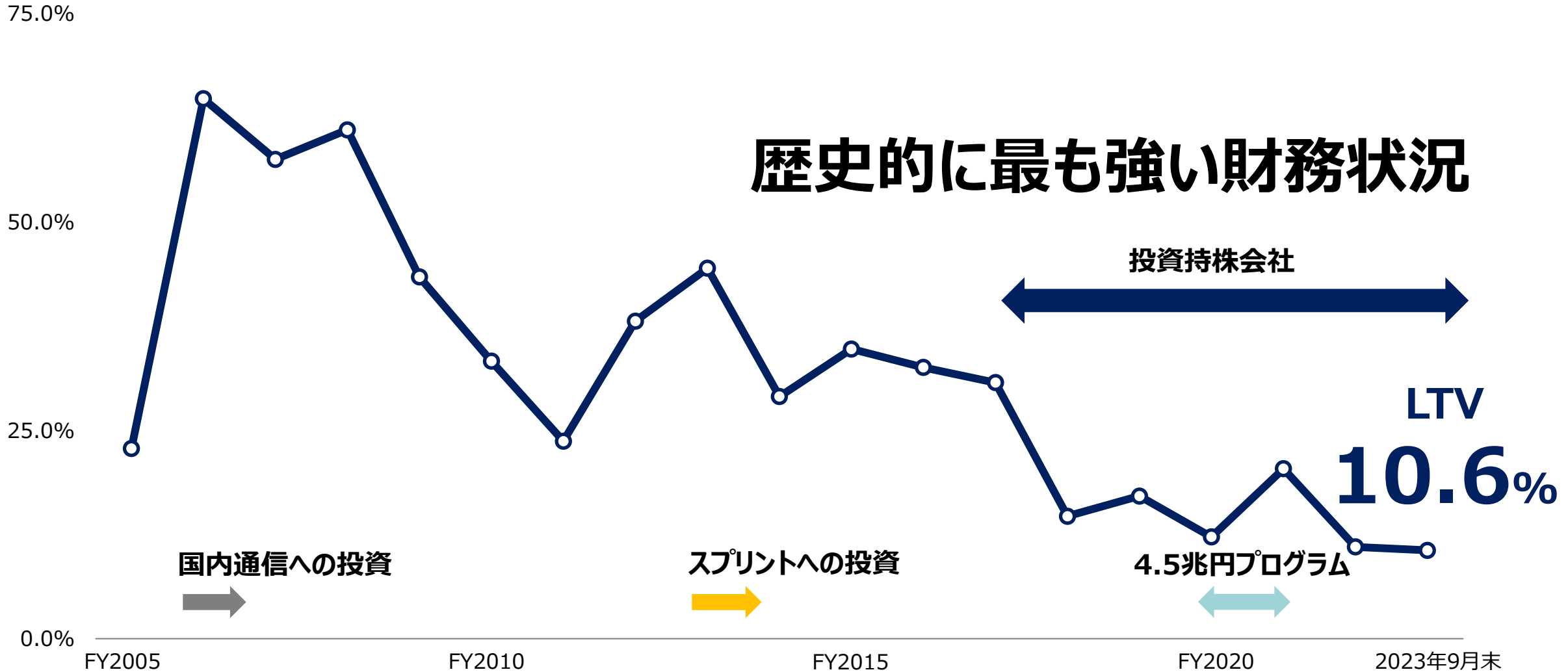
金融市場におけるプレゼンスの向上

強固な財務基盤を活かし、調達手段を多様化する取り組みを継続
市場参加者からの信認度は当社史上最高レベル

		2010年以前	現状
コミットメント ライン	設定枠 参加行	1,450億円（2000年） 9行（邦銀中心）	7,409億円相当（2023年） 21行（国内外の金融機関が参加）
社債	リテール債 (ホークスbond)	2005年に取り組み本格開始 初回は125億円	償還・発行のサイクルを繰り返し、 年間1兆円規模の発行が可能に
	外債	2004年に初のユーロ建て ハイールド債発行(€400M)	2021年に\$7.3Bの発行 (Reg-S ハイールド市場で最大)
アセットバック ファイナンス	株式活用	上場株を活用した貸株調達 (旧ヤフー(株)) カラーによる調達 (旧Yahoo Inc.)	非上場株を含めた多彩なストラクチャー 大型案件では概ね10-20行が参加 カラー等の取引先も14社まで拡大

LTVの推移

**LTVは過去最低の水準まで低下
今後も適切なレバレッジを追求し成長・拡大を継続**



(注) FY2005からFY2022までは各年度末時点
 • LTVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考値であり、将来のLTVを保証・示唆するものではない。

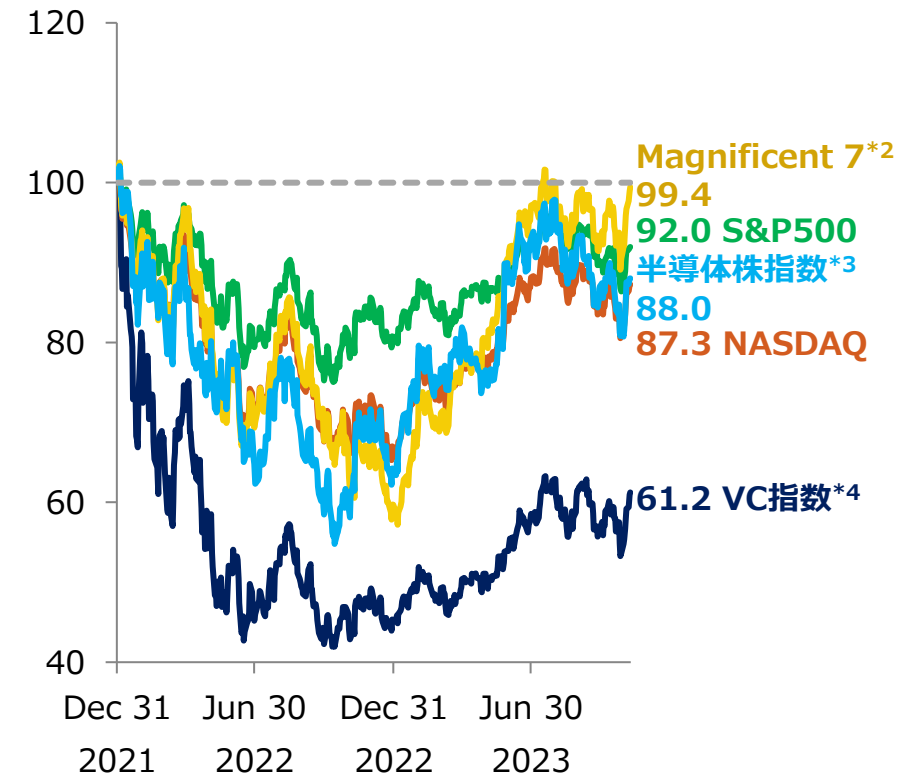
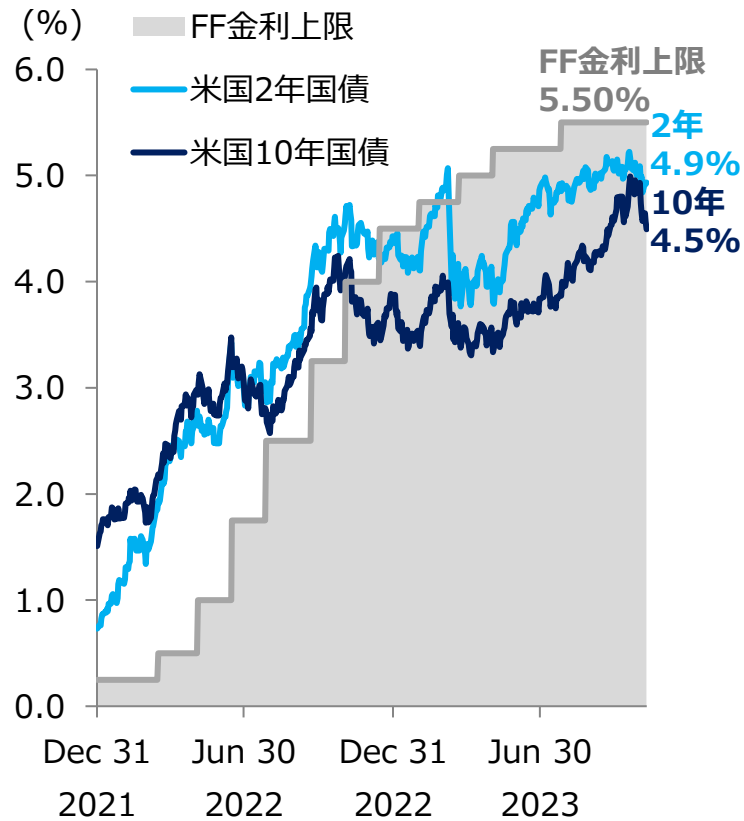
環境認識について

米金利の高止まりが株式市場の重しに

米国金利

為替（ドル円）

米国株価*1



(注) Bloombergを基に当社作成。2023年11月8日時点

*1 2021年12月末を100として指数化

*2 Magnificent 7: Alphabet、Amazon、Apple、Meta、Microsoft、Nvidia、Tesla。グラフは当該7銘柄の時価総額加重平均

*3 フィラデルフィア半導体株指数 (SOX)

*4 Thomson Reuters Venture Capital Index

FY2023 Q2財務サマリー

ArmのIPO完了により財務基盤はさらに強固に。「攻め」の投資を継続

NAV・LTV	NAV 16.4兆円（前四半期比 +0.9兆円） LTV 10.6%（前四半期比 +2.6ポイント） 純有利子負債 1.9兆円（前四半期比 +0.5兆円） 手元流動性 5.1兆円^{*1}（前四半期比 -0.7兆円）
Arm	SVF1からのArm株式買取およびArmのIPO完了 - SVF1からのArm株式の買取 \$4.1B（初回支払）（合計\$16.1Bを2年間で分割払い） - Arm IPO時売出し \$5.1B（持分の10%相当） - Arm株式を活用したマージンローン調達（借換） \$8.5B（1.2兆円） （IPO直後のマージンローンとしては過去最大規模）
財務活動	- コミットメントライン更改 米ドル建\$4.7Bおよび円建356億円（総額約7,409億円） - 米ドル建および国内ハイブリッド社債期限前償還 \$2.1B（約2,751億円）
投資活動	Q1より投資再開 - Q2投資額 \$1.5B（約2,159億円）^{*2}

^{*1} 現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋国債投資＋コミットメントライン未使用枠。2023年9月末のコミットメントライン未使用枠は7,409億円相当。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物は含む。）

^{*2} SVF、SBGおよび主な100%子会社からの投資額。期中平均為替レートにて円換算

Arm IPOサマリー

半導体企業のIPOとして史上最大^{*1}

数多くの戦略的投資家も参加。半導体セクターにおけるArmの中核的地位を象徴



2023年9月 上場時時価総額：\$52B
IPO （売出比率 10%）

IPO価格	1ADS当たり\$51.00 (仮条件：\$47.00～\$51.00の上限)
上場時時価総額^{*2}	\$52B (7.8兆円^{*3}) (2023年最大 ^{*4})
SBGの手取金 (売出比率)	\$5.1B (10%) (2023年最大 ^{*4})
上場日	2023年9月14日
売出人	SBGの100%子会社 ^{*5}
上場市場	Nasdaq Global Select Market

^{*1} 出所：Bloomberg等の各種ベンダー、半導体セクターにおけるIPO案件の上場時時価総額を比較

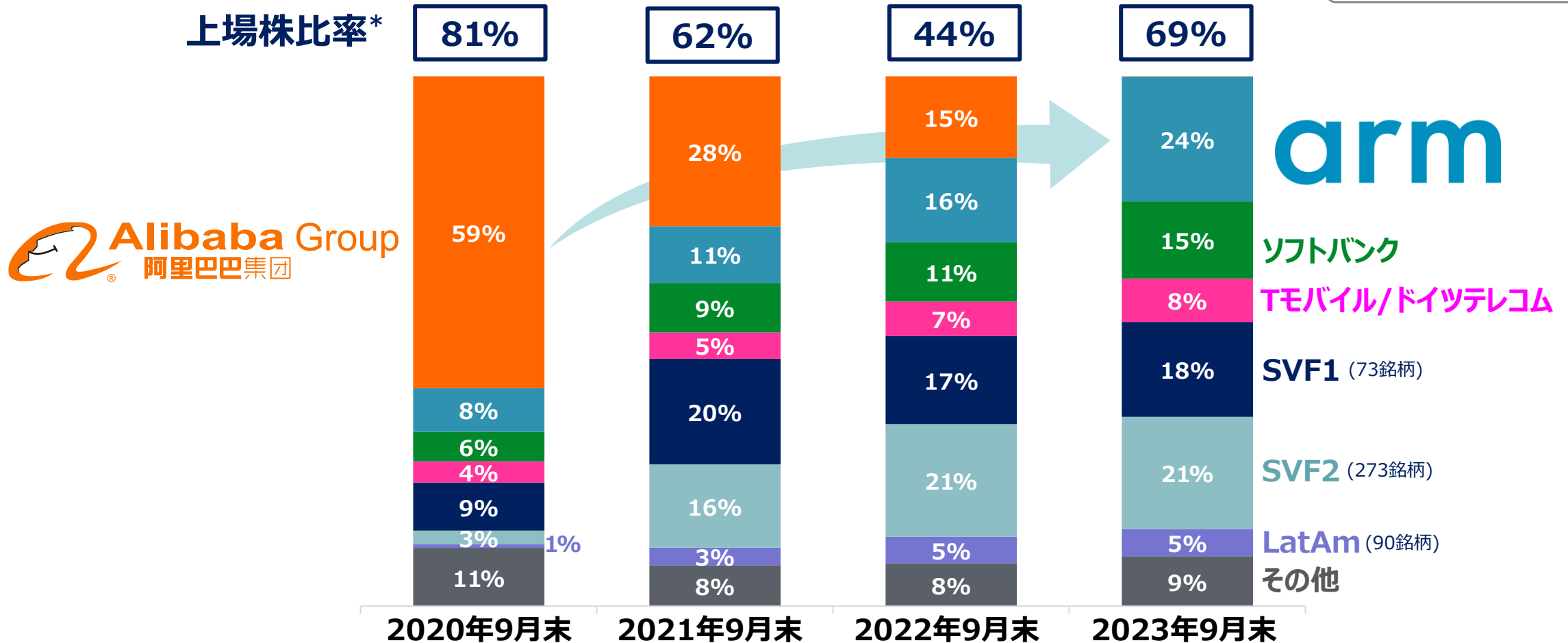
^{*2} 2023年9月末のArmの発行済株式総数（希薄化前。自己株式を除く）1,025,234,000株に1ADS当たり公開価格を乗じて算出 ^{*3} 1ドル=149.58円にて換算

^{*4} 2023年11月9日時点 ^{*5} SBGの間接完全子会社であるKronos II LLCによる売出し

ポートフォリオの入替え

ポートフォリオの質が改善：分散の進展、上場株比率の大幅回復、地政学リスク低減

アセットバック・ファイナンス除く



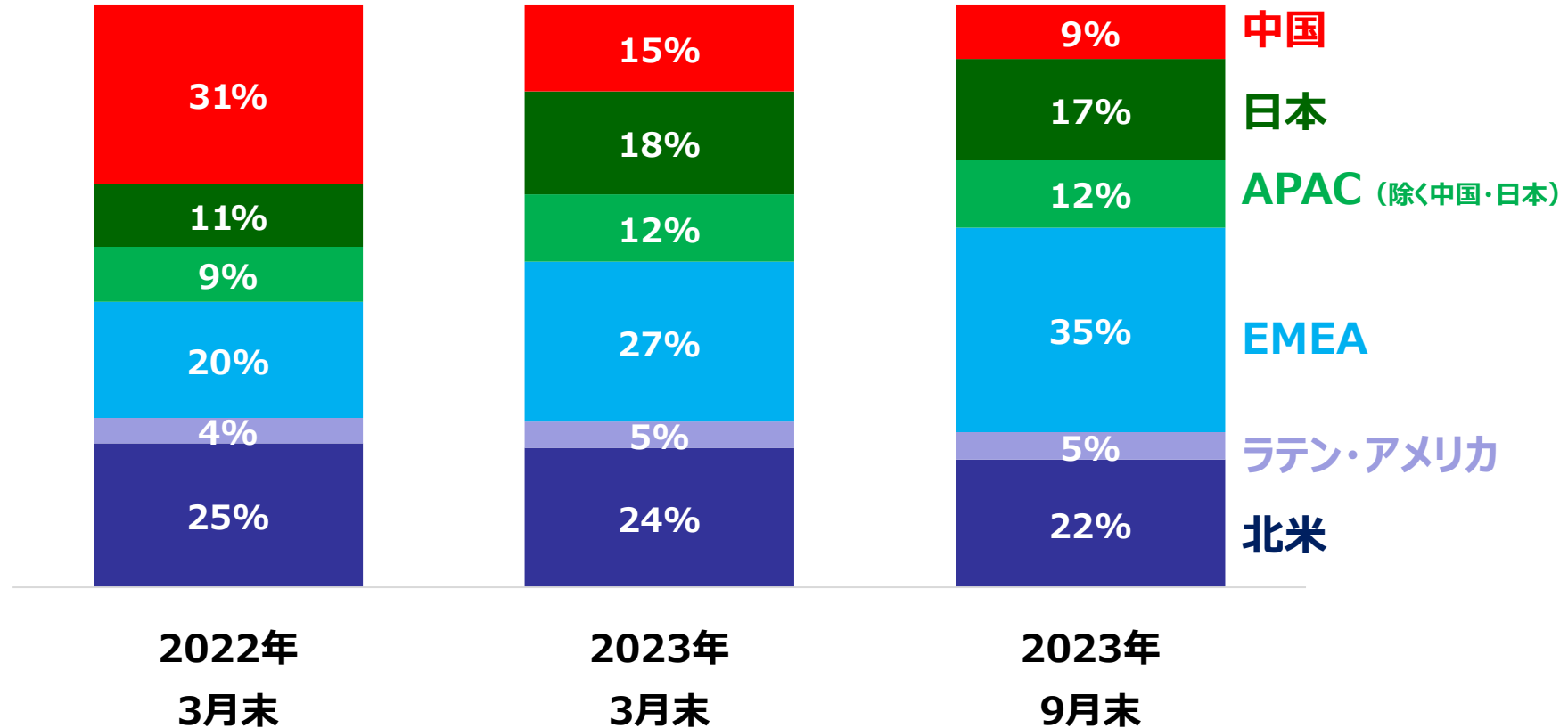
(注) 保有株式価値の各9月末時点の詳細は、各四半期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendixを参照

* 上場株比率：アリババ、アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、およびその他のうちの上場株式を含む。2023年9月末からアーム含む。
(ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)

ポートフォリオの地域分散

中国株式の割合が大幅に減少

アセットバック・ファイナンス除く



(注) 各投資先の本社所在地に基づき地域を分類

中国：アリババ、SVF1・SVF2（中国相当）およびその他の中国投資の合計、日本：ソフトバンク、SVF1・SVF2(日本相当)およびその他の日本投資の合計

APAC（除く中国・日本）：SVF1・SVF2（中国・日本を除くAPAC相当）およびその他の中国・日本を除くAPAC投資の合計

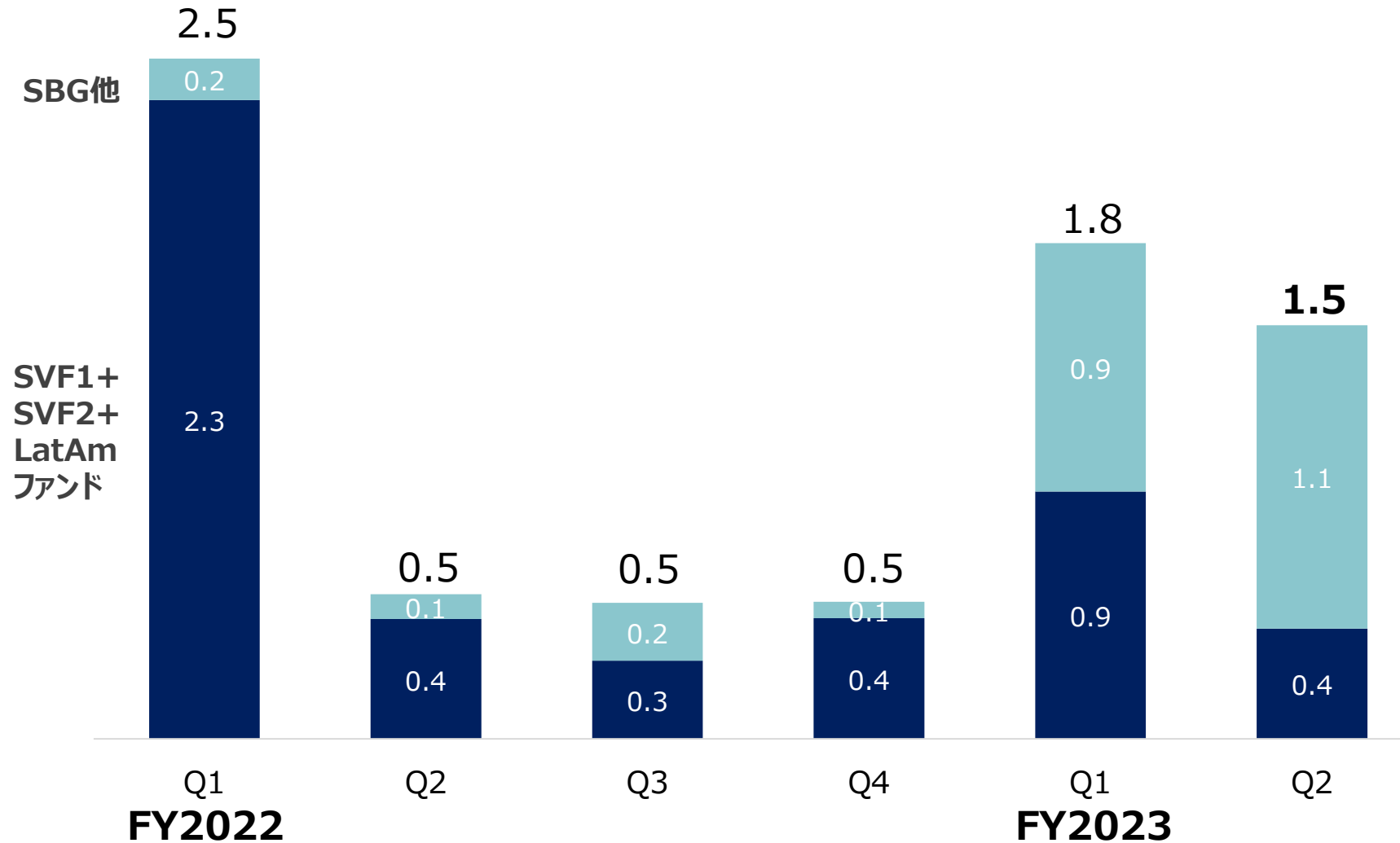
EMEA：アーム、ドイツテレコム、SVF1・SVF2（EMEA相当）およびその他のEMEA投資等の合計、ラテンアメリカ：LatAmファンド、SVF1(ラテンアメリカ相当)およびその他のラテンアメリカ投資の合計

北米：Tモバイル、SVF1・SVF2（北米相当）およびその他の北米投資の合計

投資額の推移 (SVF1+SVF2+LatAmファンド+SBG他)

Q1より投資再開～慎重に投資拡大

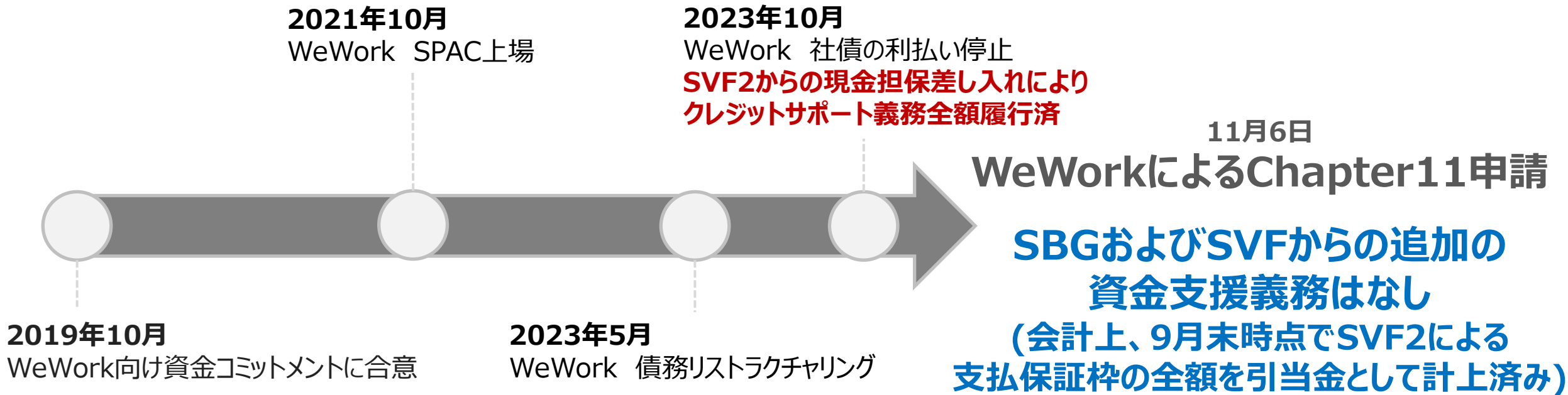
(\$B)



(注) SBG他投資額：SBGおよび主な100%子会社からの投資額（国債への投資を除く）。Arm株式に関するグループ内取引に伴う投資額を除く。
SVF投資額：新規および既存投資先への追加投資の合計。株式交換を含む。SBGからSVFへの移管に伴う投資額を除く。

WeWorkの状況

当社グループのクレジットサポート義務は全て履行済



手元流動性と今後の社債償還

社債償還2年分を大幅に超える潤沢な手元流動性を確保

手元流動性

社債償還スケジュール

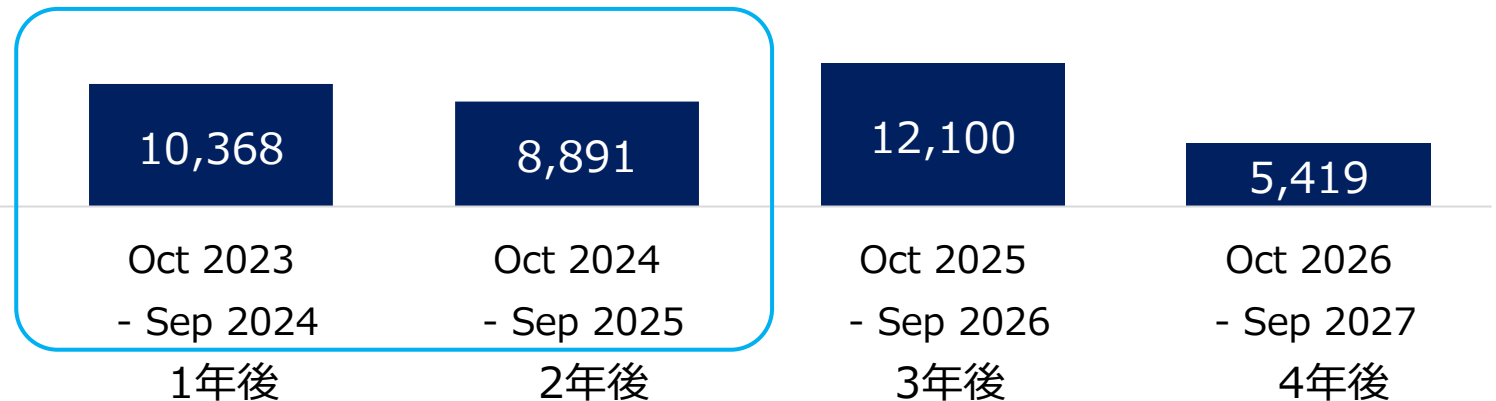
5.1 兆円^{*1}



コミットメントライン未使用枠^{*2}

(億円)

今後2年間の社債償還 (1.9兆円)



^{*1} 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 国債投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物は含む。）

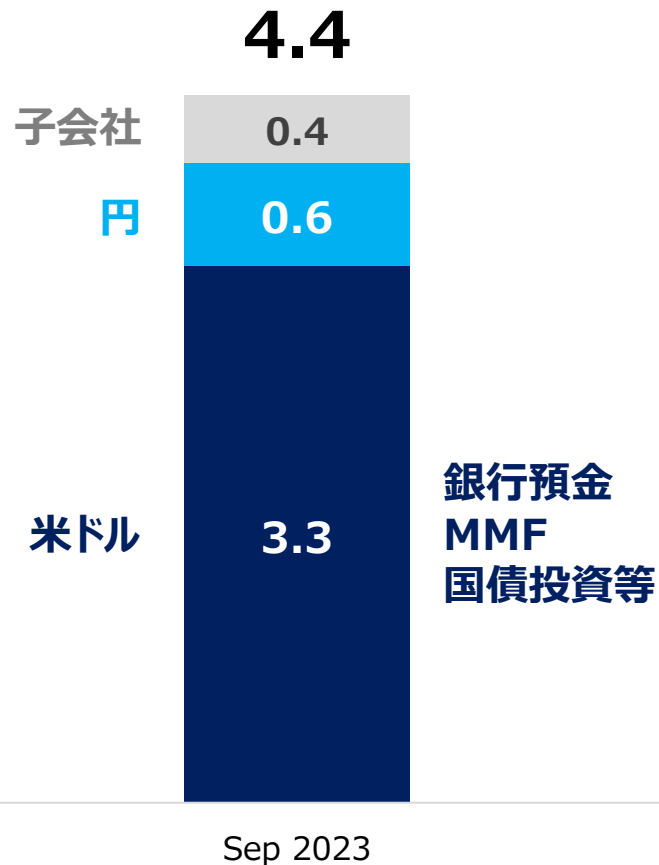
^{*2} 2023年9月末時点のコミットメントライン総額7,409億円相当は全額未使用

手元流動性の通貨内訳と利回り

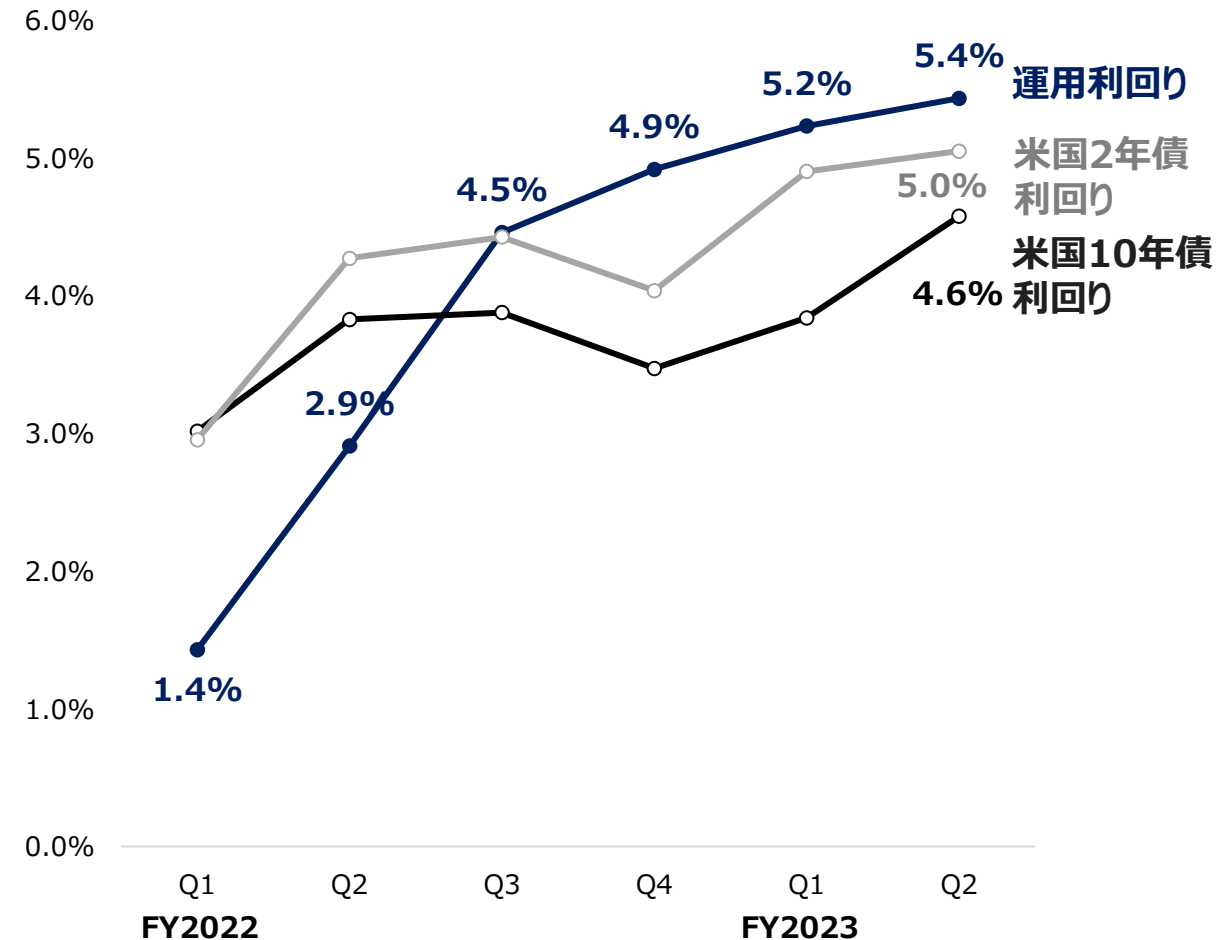
主に米ドル預金で高利回りの運用を継続

手元流動性の内訳*1

(兆円)



当社米ドル預金等の平均利回り*2



*1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 国債投資。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物は含む。）

*2 四半期平均

金利上昇への対応

資金化加速を通じて積み上げた豊富な手元流動性により、高い財務柔軟性を有する

潤沢な手元流動性

調達タイミングの選択が可能

5.1兆円

>

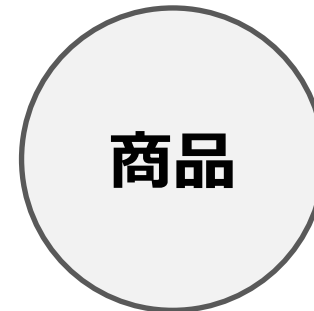
1.9兆円

手元流動性*
社債償還5年分に相当

今後2年間の
社債償還

多様な調達オプション

多様な調達手段の中から選択可能



- 社債
- ローン
- アセットバック
ファイナンス

×



- 利率（固定・変動）
- 通貨
- 調達額
- 年限 ...etc.

* 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 国債投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物は含む。）
2023年9月末時点のコミットメントライン総額7,409億円相当は全額未使用

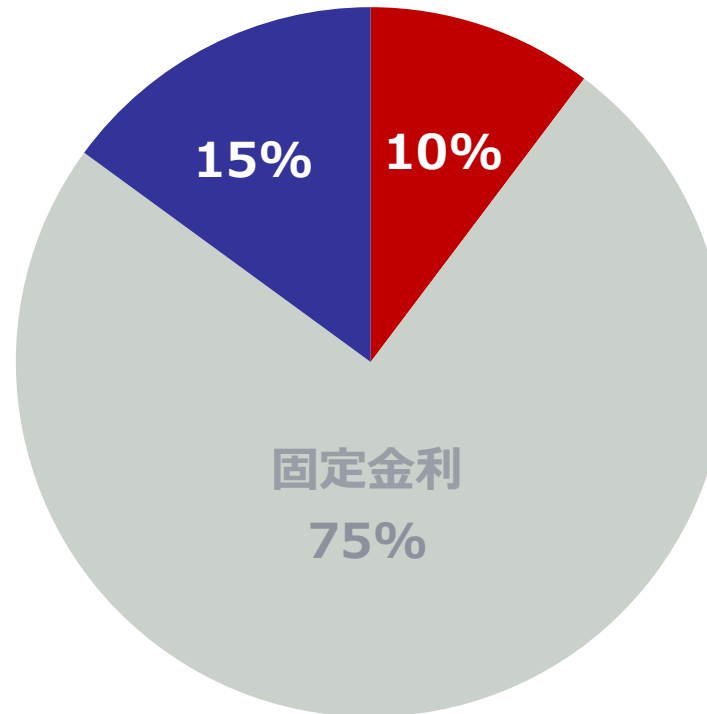
金利上昇インパクト: 変動金利の負債

短期的な金利上昇による利払急増のリスクなし

SBG単体有利子負債^{*1}における固定・変動比率

ドル変動

金利1ポイント上昇で
\$0.1B支払利息増^{*2}
< \$0.2B受取利息増^{*3}



円変動^{*4}

金利1ポイント上昇で
82億円利払増^{*5}

^{*1} 2023年9月末時点のSBGおよび資金調達を行う子会社における有利子負債残高（含むマージンローン、除く株式先渡契約）

^{*2} ドル変動利付負債（2023年9月末残高：85億米ドル（額面ベース））にかかる12か月の利払増額（推計）

^{*3} 米ドル預金+MMF投資にかかる12か月の利払増額（推計）

^{*4} 含むCP残高

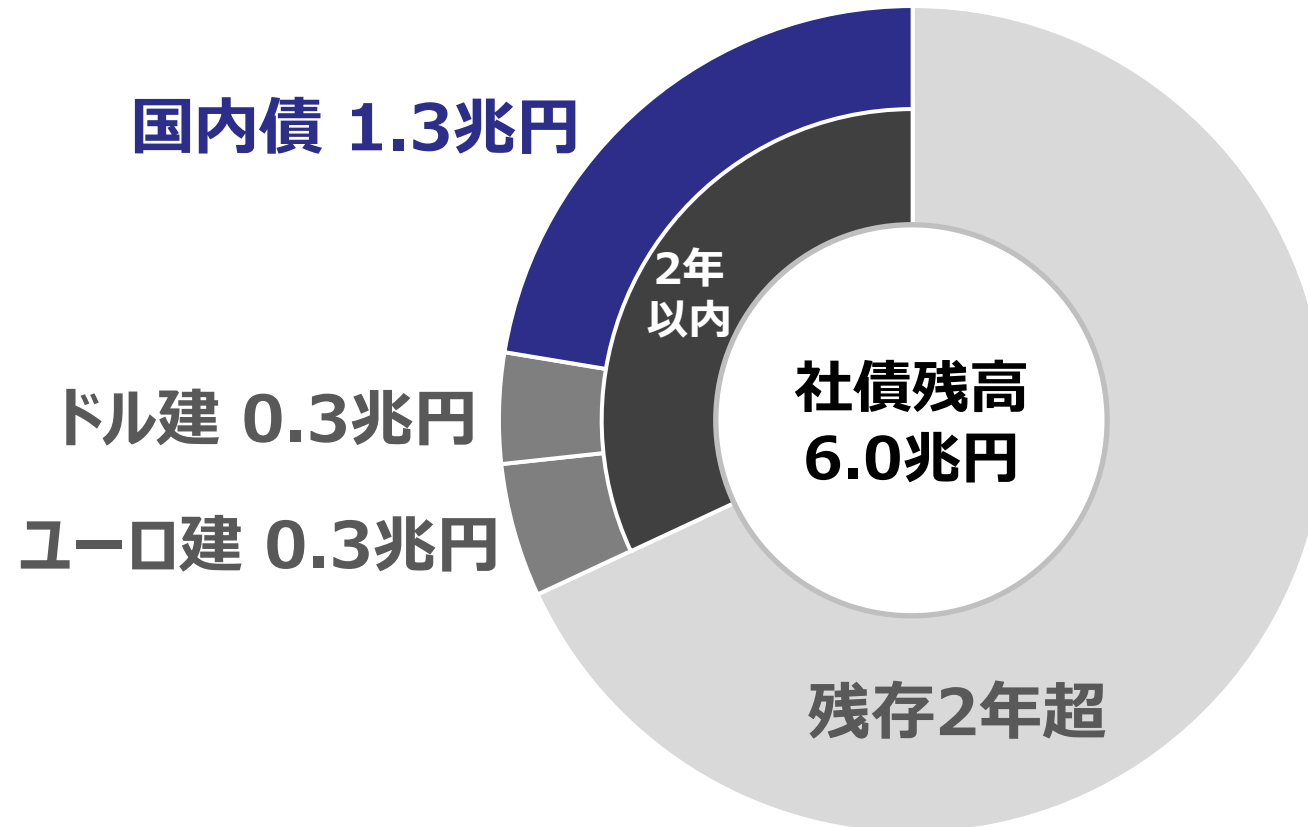
^{*5} 円変動利付負債（2023年9月末残高：8,206億円（額面ベース））にかかる12か月の利払増額（推計）

金利上昇インパクト：固定金利の負債

現在の金利環境が今後2年間継続すると仮定

2年以内償還債の大部分は、金利が低い国内債が占める

社債残高の内訳*



* 2023年9月末時点の当社の社債残高および残存年数

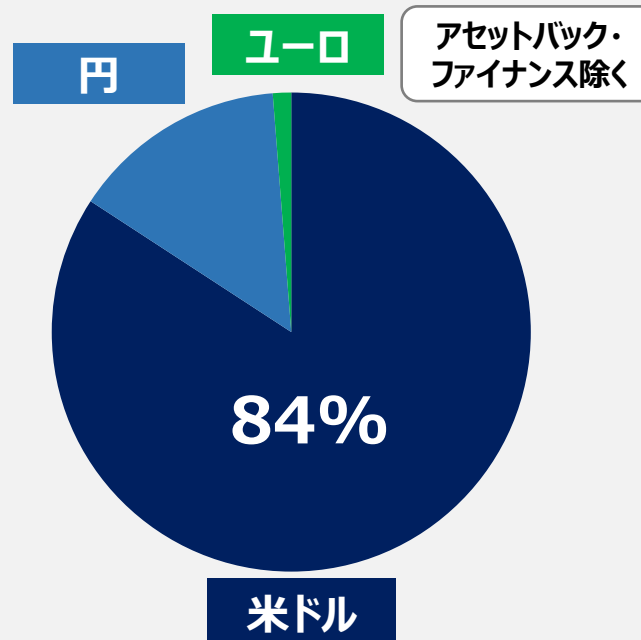
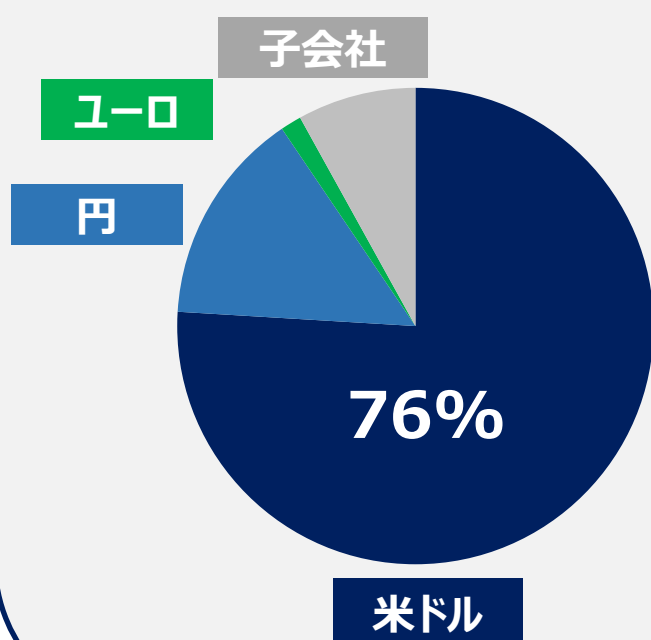
• 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=149.58円、1ユーロ=158.00円にて換算

投資と資金化のフローは大半がドルベース、負債は原則同通貨でのリファイナンスを想定

投資と資金化

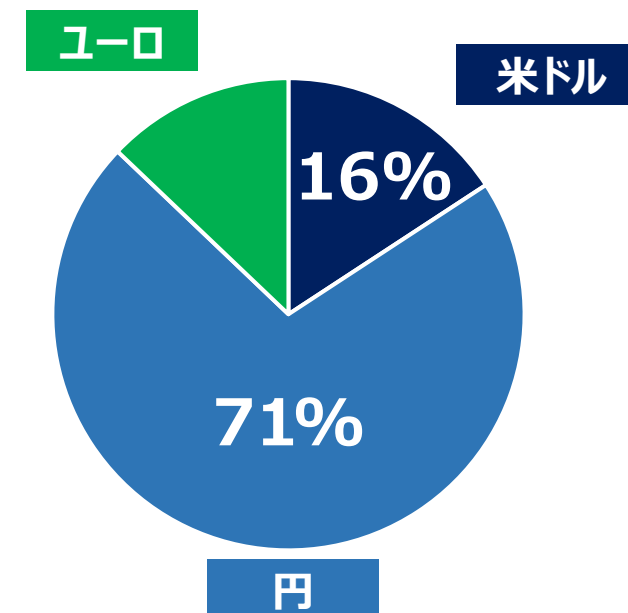
手元流動性：4.4兆円^{*1}

保有株式価値：18.4兆円^{*2}



負債構成

有利子負債^{*3}：6.7兆円



(注) 2023年9月末時点。1ドル=149.58円、1ユーロ=158.00円を前提に、円建て換算

^{*1} 手元流動性＝現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋国債投資。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物は含む。）

^{*2} SBG単体保有株式価値。詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体保有株式価値」を参照

^{*3} 2023年9月末時点のSBG単体有利子負債（ノンリコースの有利子負債を除く）

為替影響（FY2023上期）

円安はNAVと資本にプラスの影響

主にグループ会社からの外貨建借入に係る為替差損が発生

NAVへの影響

+1.9兆円

会計への影響

資本

+1.8兆円

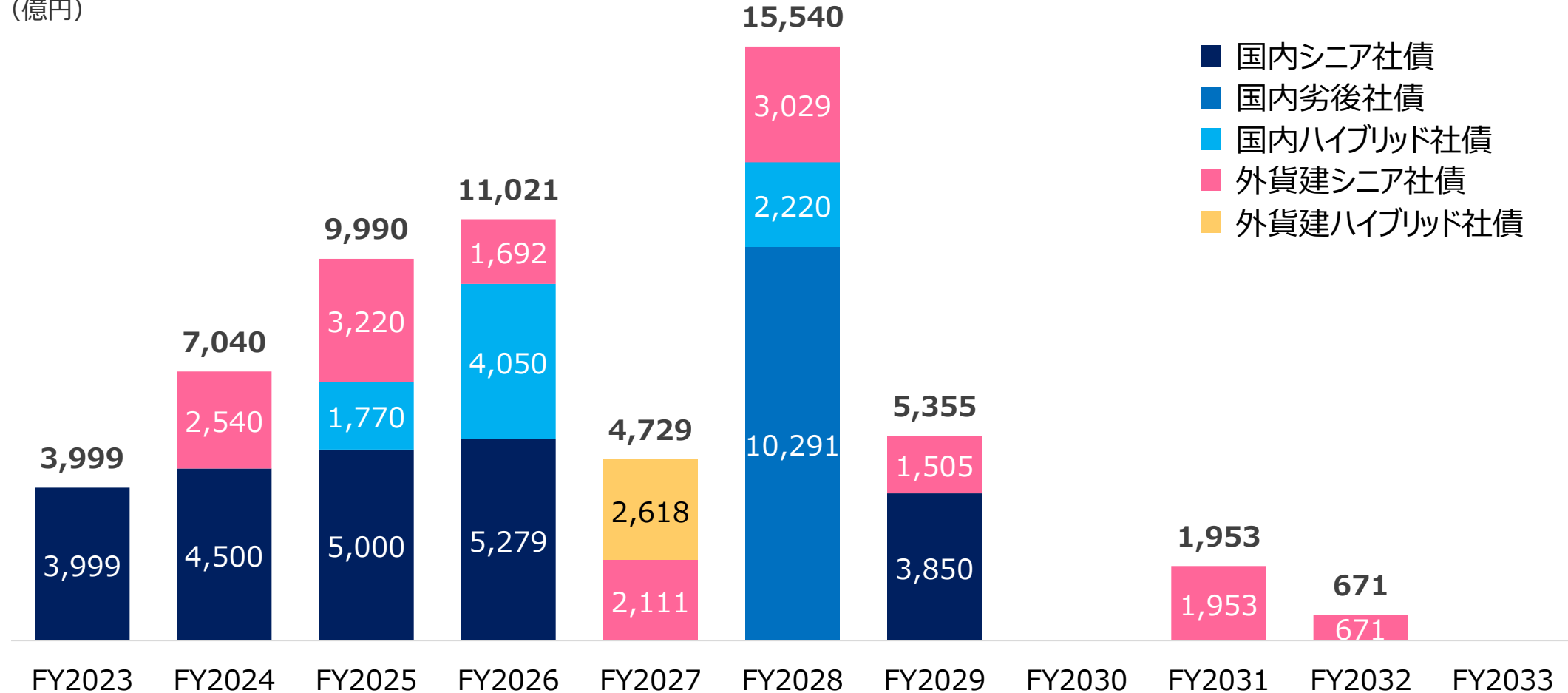
連結純利益

-0.6兆円

社債償還スケジュール

手元流動性および市場環境を考慮した起債運営を実施

(億円)



- 2023年9月末時点発行残高。パイバックにより取得した社債を除く。
- ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース。
- FY2023Q2のパイバックは約122億円相当。通貨別の内訳は米ドル建58百万米ドル(78億円相当)、ユーロ建32百万ユーロ(43億円相当)

FY2023 調達・運用方針

調達：リファイナンスベースでの調達が中心に

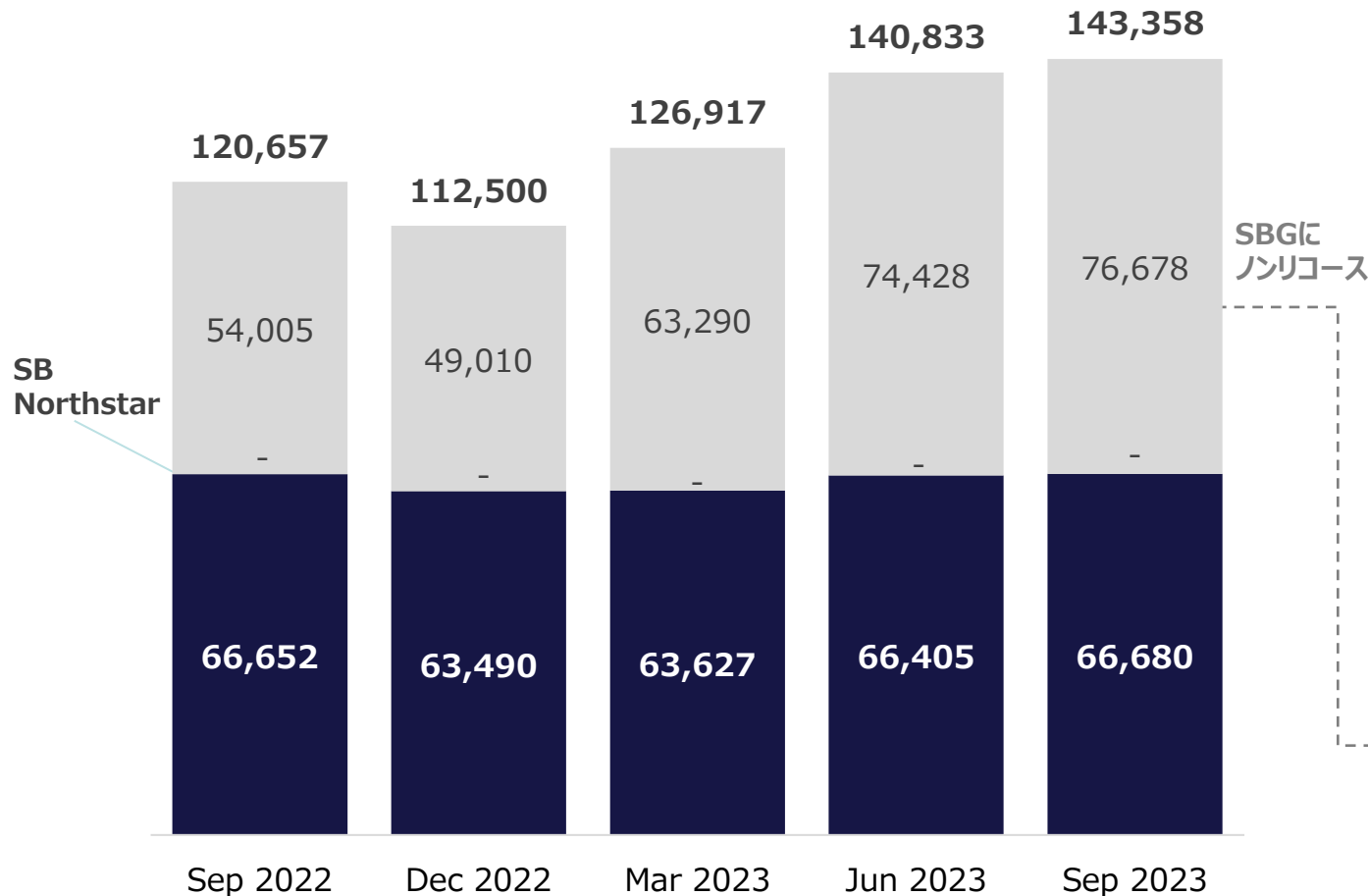
余資運用：運用の多様化に取り組み

調達	社債	現時点では主にリファイナンスを想定。積極調達の予定なし 国内：2024年3月に約4,000億円の国内債の償還 海外：2024年度に\$1.9B相当のシニア債の償還
	ローン	現時点で予定はなし コミットメントラインは年度の定期更改を実行完了（Q2）
	アセットバック・ファイナンス	豊富なアセットを活用した調達の多様化を常に検討
余資運用		米ドル預金等で運用 信用力の高い複数の金融機関に分散 引き続きMMFや米国債など運用の多様化に取り組む

SBG単体 有利子負債^{*1}

為替影響により、SBG単体有利子負債は微増

(億円)



2023年6月末からの主な変動要因		
・ 為替影響(ノンリコース負債含む) +2,331億円 ^{*2}		
2023年9月末 内訳		(億円)
SBG 借入金		対6月末
銀行借入	3,250	+308
ハイブリッドローン	1,350	+2
その他	0	-
小計	4,599	+309
SBG 社債・CP		
国内シニア債	22,538	+10
国内劣後債	10,179	+5
国内ハイブリッド債	7,919	-152
外債	18,948	+217
CP	1,835	-55
小計	61,419	+25
SBG リース負債	100	-3
子会社 有利子負債		
株式先渡契約金融負債	54,283	+1,901
ドイツテレコム株式を活用したカラー取引	4,816	+1
ソフトバンク株式を活用したマージンローン	4,981	+3
アーム株式を活用したマージンローン	12,598	+345
その他	561	-56
小計	77,239	+2,194
合計	143,358	+2,525

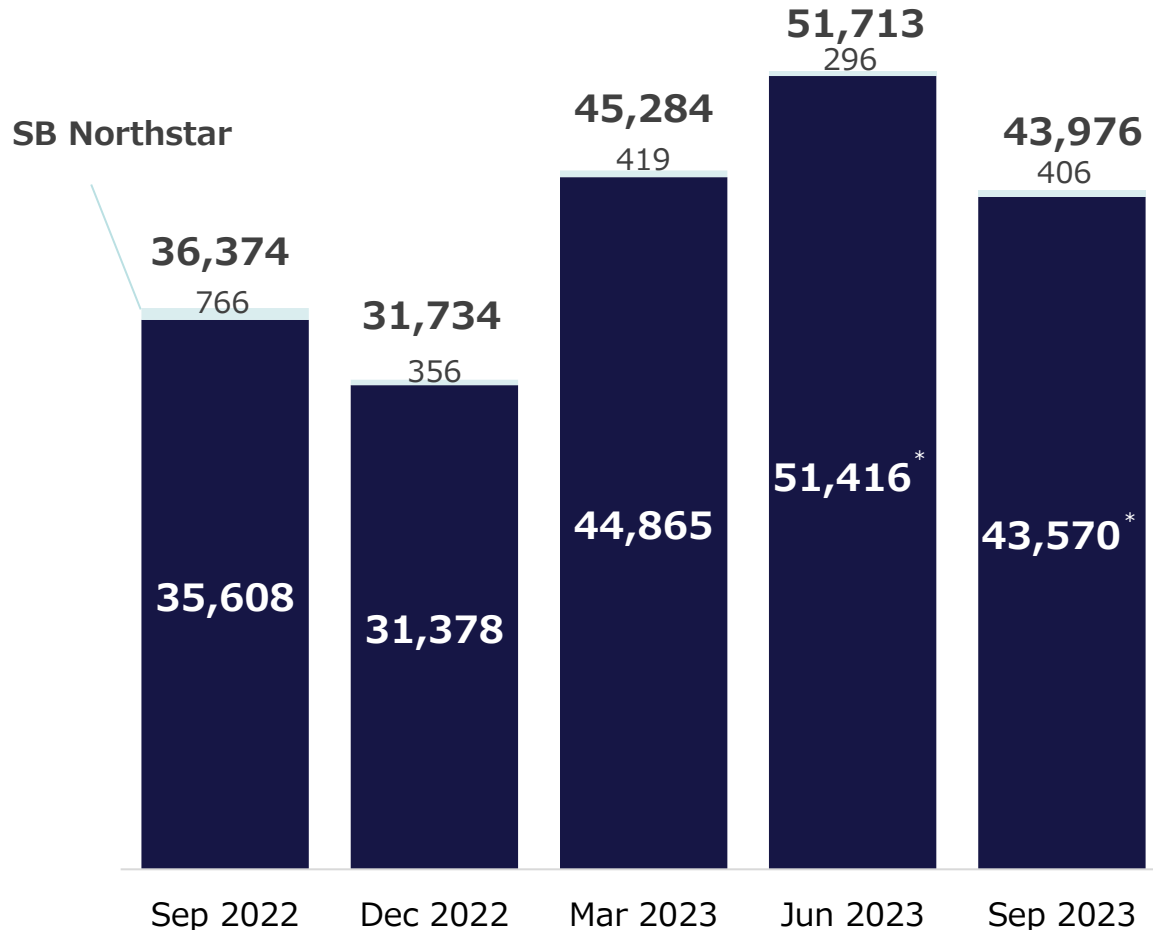
*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

*2 「その他」に含まれる外貨建負債の影響は除く

SBG単体 手元流動性

引き続き潤沢な手元流動性を確保

(億円)



2023年6月末からの主な変動要因

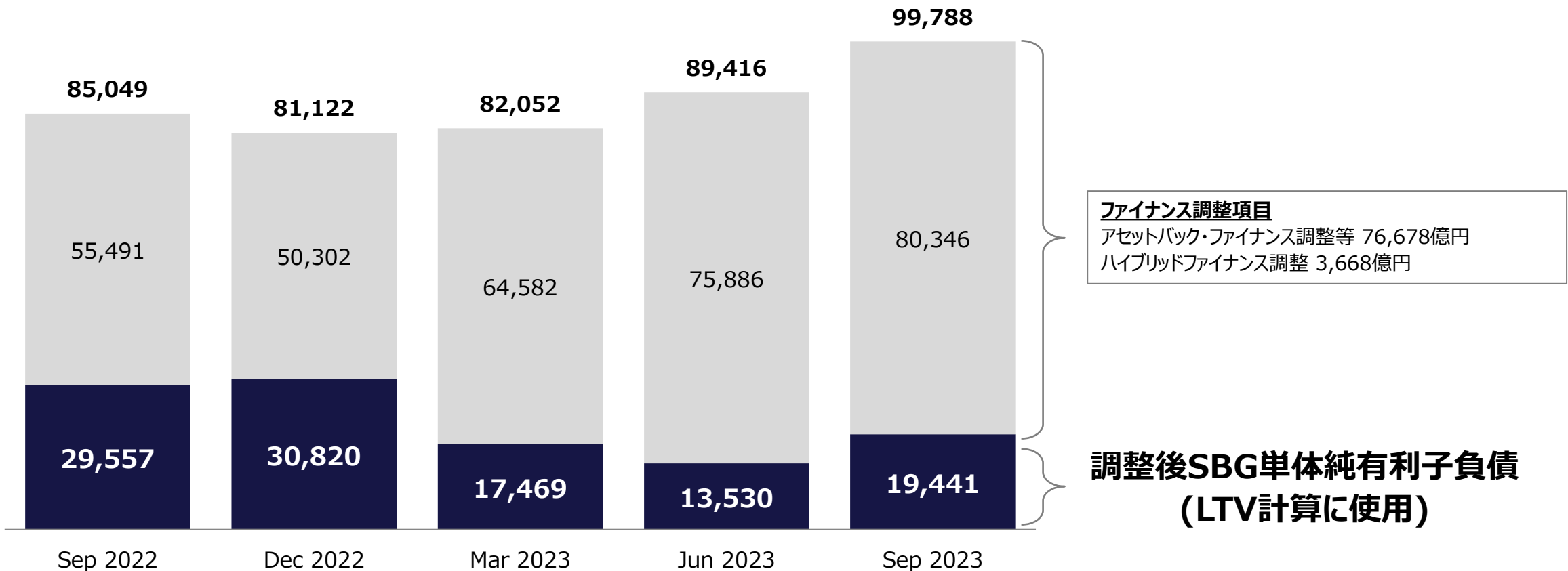
増加	減少
・Arm IPO手取金 (+\$5.1B)	・社債バイバック及び期限前償還 (-2,873億円相当)
	・Arm株式買取 (-\$4.1B)
	・SBG他における投資 (-\$1.1B)
	・SVF2への拠出金 (-\$2.3B)

(注) 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等) + 国債投資。SBG単体ベース
 * 2023年6月末より、SBG単体手元流動性にSB Northstar 現金及び現金同等物を含む (2023年6月末 2,483億円、2023年9月末 10,271億円)

SBG単体 純有利子負債

調整後純有利子負債は低水準を維持

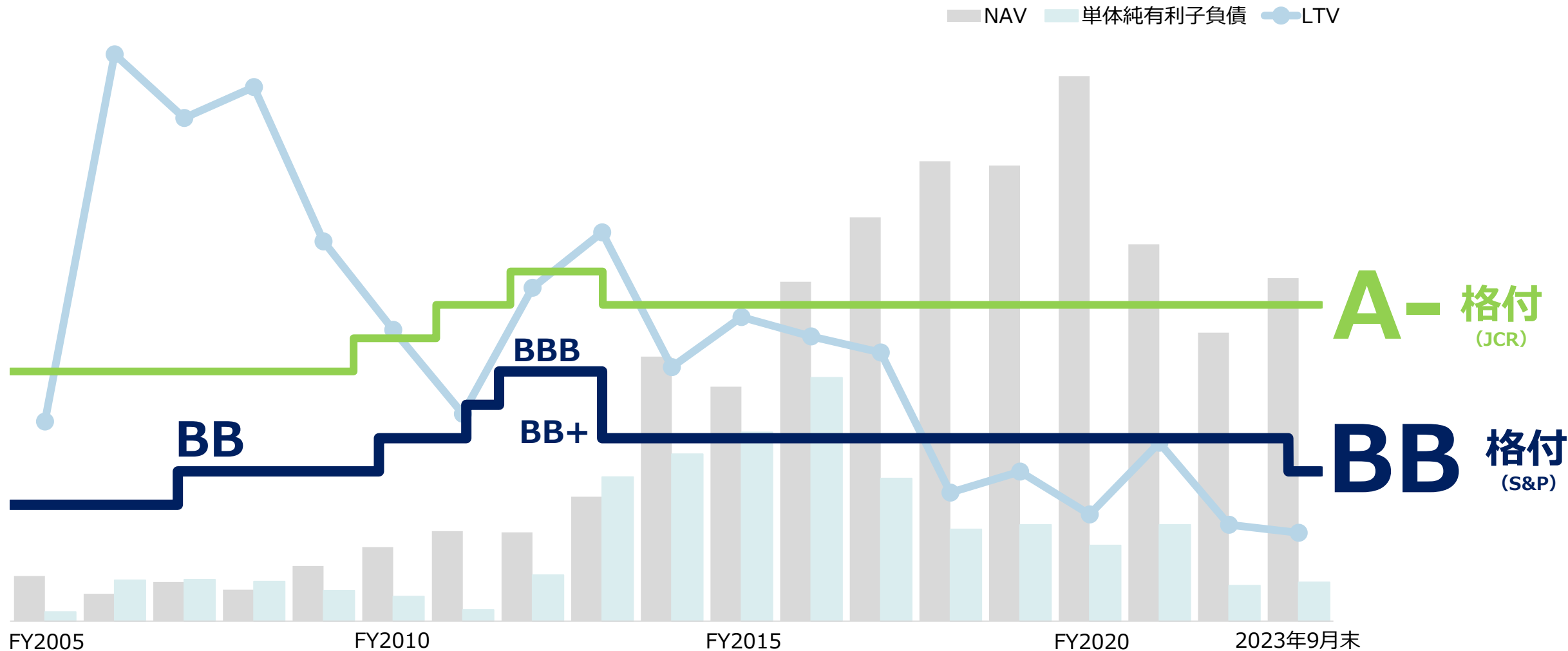
(億円)



(注) SBG単体手元流動性は、SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物は含む。詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

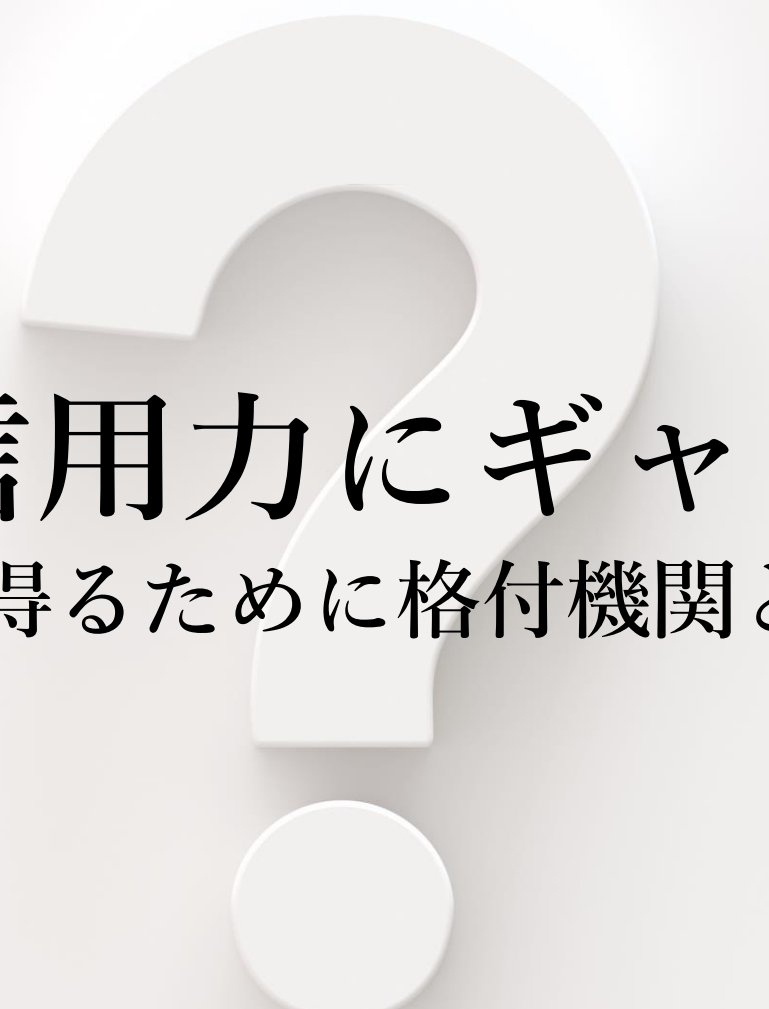
格付推移と財務状況

豊富な資産と低レバレッジ水準に支えられ、歴史的に最も強い財務状況
一方でS&P格付は過去15年間で最低



(注) FY2005からFY2022までは各年度末時点

・ NAVおよびLTVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考値であり、将来のNAVおよびLTVを保証・示唆するものではない。



格付と信用力にギャップあり
公正な評価を得るために格付機関との対話を継続

LTVコントロール方針

NAV拡大に向けレバレッジを引き続き活用
投資再開後も、余裕を持ったLTV管理を継続



1

通常時 LTV25%未満 で運用（異常時でも上限35%）

2

少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3

SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保

投資先の財務は
独立採算

救済投資は
行わない

財務方針の堅持

**「守り」「攻め」
両面に対応
できる財務運営**

更なるダウンサイド
にも耐える「守り」

財務の安全性を
維持しつつ
情報革命を牽引する
投資は実行

通常時 LTV25%未満で運用
(2023年9月末 LTV = 10.6%)

少なくとも2年分の社債償還資金を保持
(2023年9月末 手元流動性 = 5.1兆円)



新規投資



株主還元*



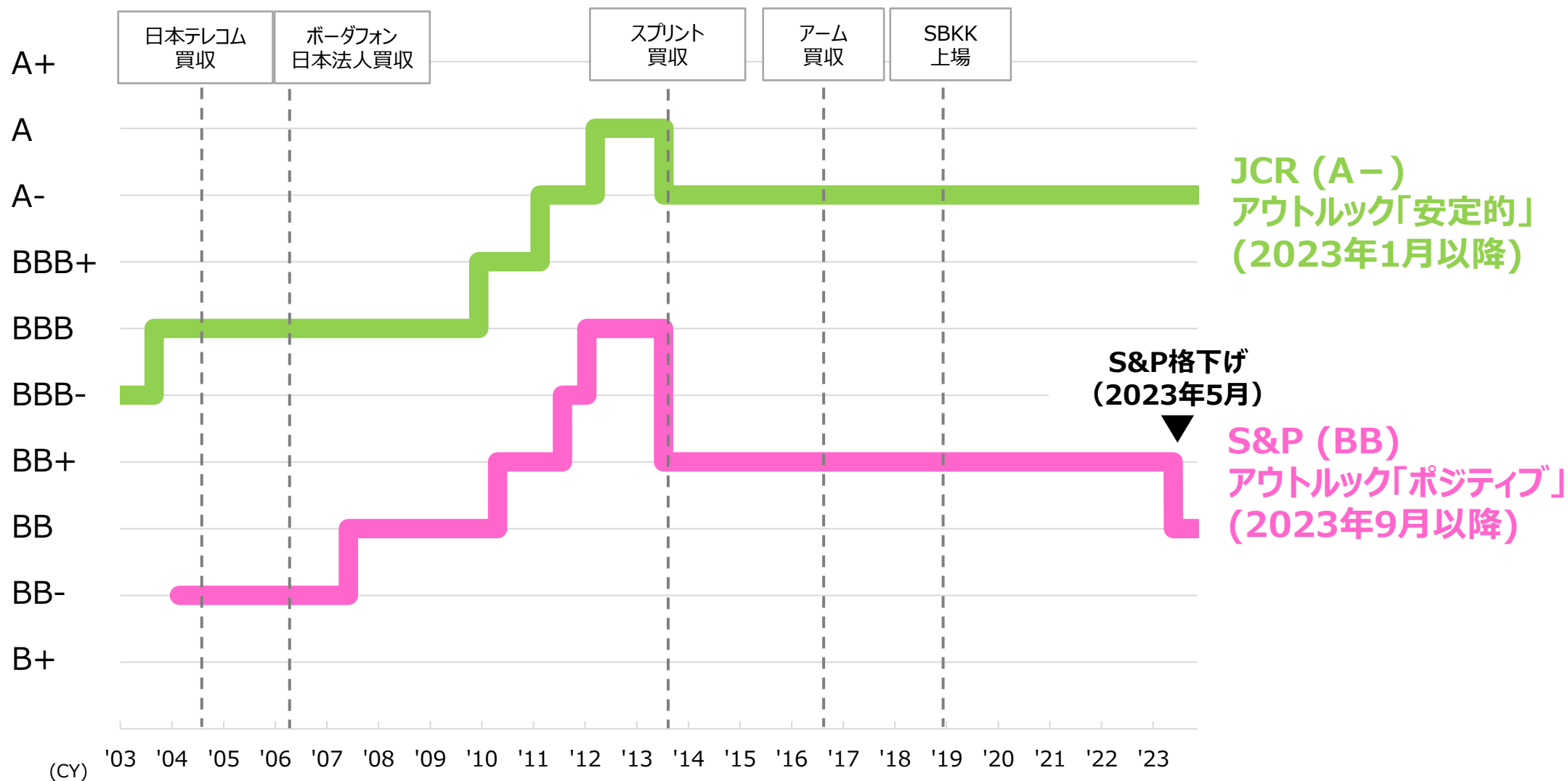
財務方針
(財務の安全性)

バランスを
常に考慮

* NAVディスカウント水準も考慮事項

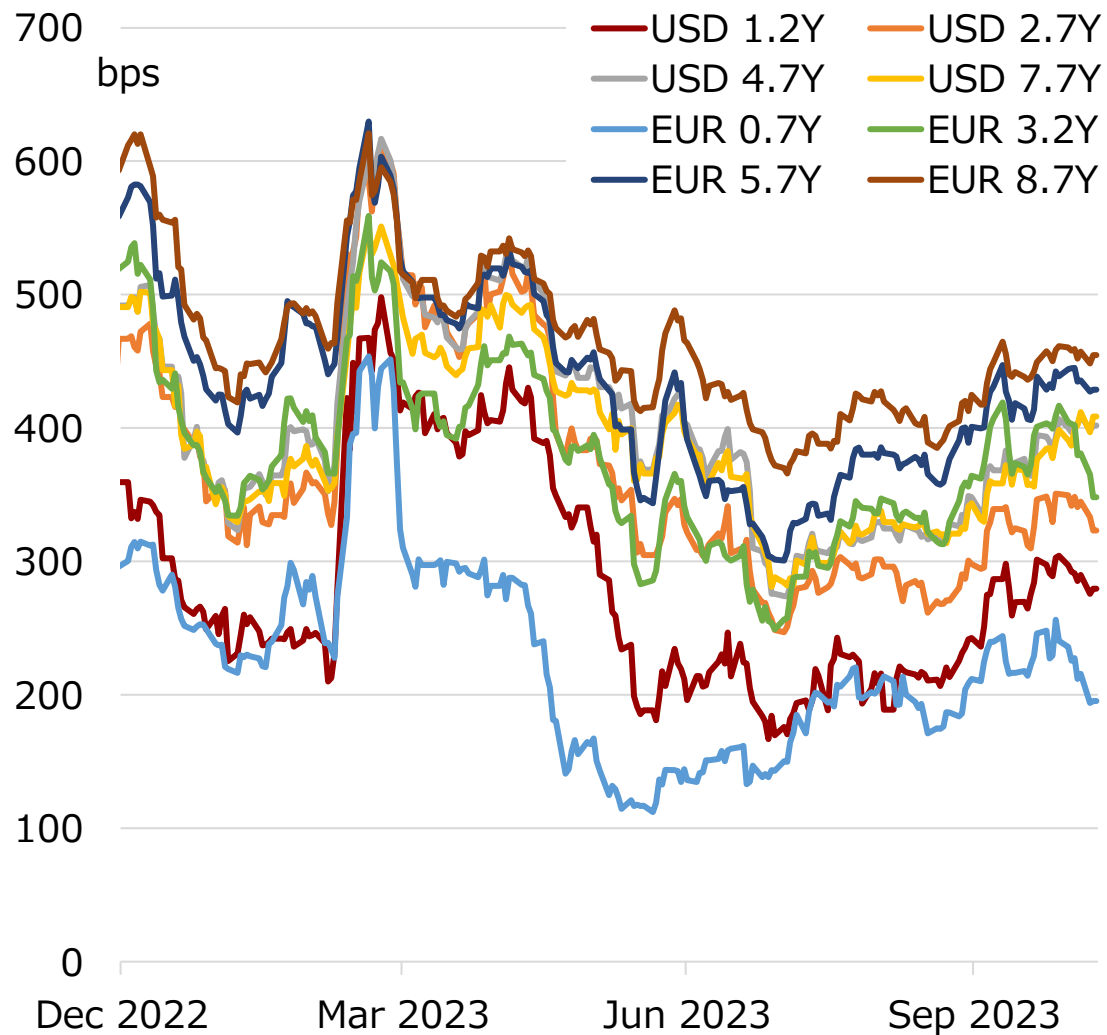
Appendix

SBGの格付推移



(注) 2023年11月9日時点

SBG シニア外債スプレッド



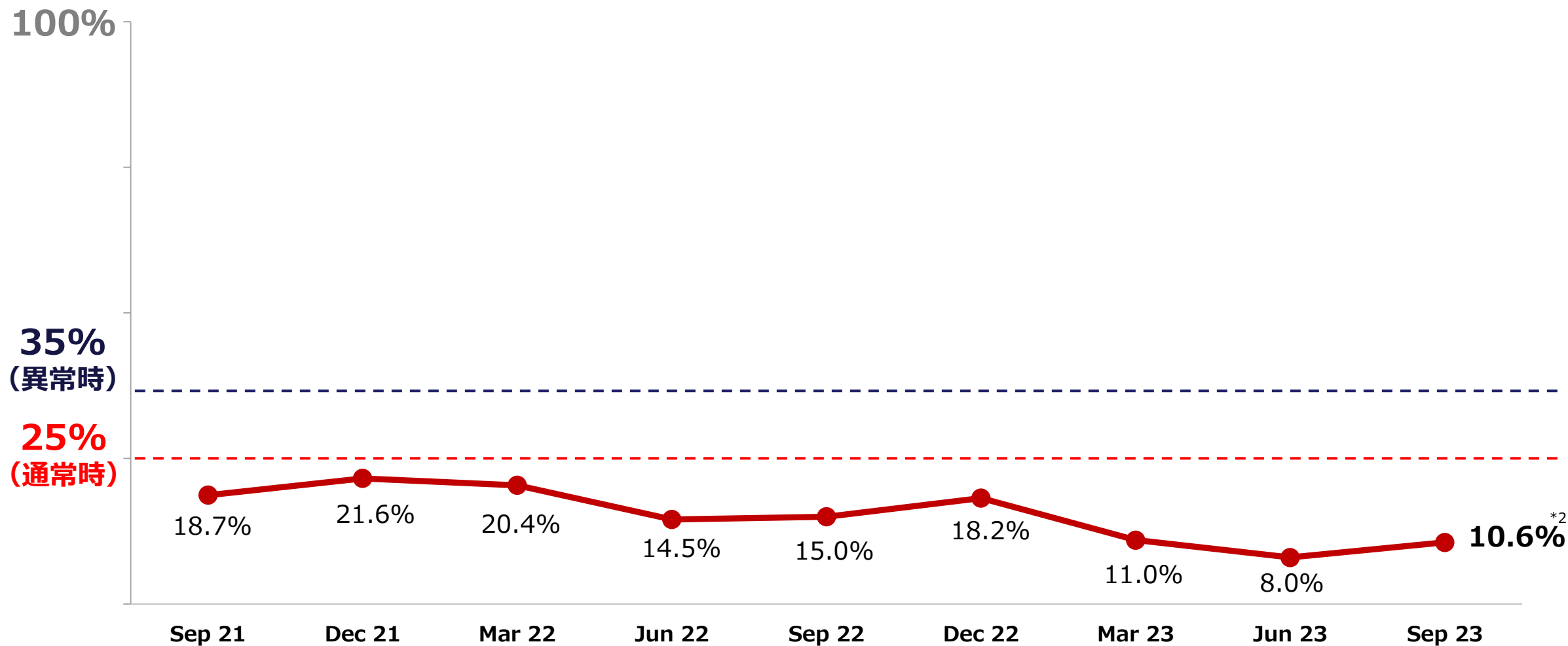
SBG 5年CDS



(注) 2023年11月8日時点。BloombergおよびCapital IQを基に当社作成。2021年7月発行のシニア外債のZスプレッドを参照

財務規律の範囲内でコントロール

アセットバック・ファイナンス除く



^{*1} 各四半期末時点の数値を記載

^{*2} 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

2023年9月末：保有株式価値（算出方法）

1USD=149.58円

25.7兆円
(調整前)

(兆円)

18.4兆円
(調整後)

ドイツテレコム
0.2



保有株式価値
(調整後)

4.3兆円

0.01兆円

2.7兆円

3.3兆円

3.9兆円

0.9兆円

1.3兆円

0.2兆円

保有株式価値
(調整前)

5.6兆円 保有株式数 923百万株^{*1} × 株価 \$53.52^{*1} - 取引対価 未払金^{*2}

4.6兆円 保有株式数 355百万株^{*1} × 株価 \$86.74^{*1}

3.2兆円 保有株式数 1,915百万株 × 株価 1,690.5円

3.3兆円

3.9兆円 各ファンドの 保有資産価値相当 × SBG 持分

0.9兆円 + 成功報酬等

1.7兆円 保有株式数 43百万株^{*3} × 株価 \$140.05 + 条件付 対価^{*4}

0.7兆円 保有株式数 225百万株 × 株価 €19.868

アセットバック・ファイナンス
調整額

マージンローン
1.3兆円

株式先渡契約等
4.6兆円

マージンローン等
0.6兆円

カラー契約
0.4兆円

カラー取引
0.5兆円

Sep 2023

(注) 各計算式の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

*1 SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数および同証券の株価 *2 SVF1からのArm株式買取に伴う未払金120億米ドル（1.80兆円相当）

*3 ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数を含む。 *4 一定の条件下でTモバイル株式をSBGとその子会社が取得できる権利の公正価値

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

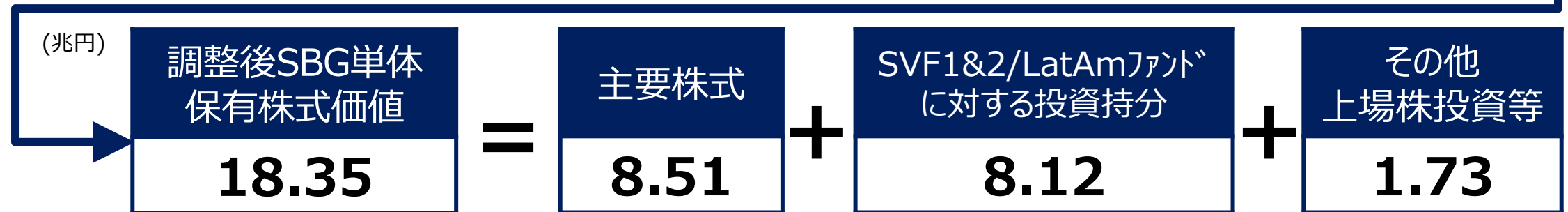
(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債

1.94兆円

=10.6%

(V) 調整後
SBG単体 保有株式価値*1

18.35兆円



アリババ	+4.60	SBKK	+3.24	Tモバイル	+1.70
アセットバック・ファイナンス	-4.60	アセットバック・ファイナンス	-0.56	アセットバック・ファイナンス	-0.43
アリババ（調整後）	+0.01	SBKK（調整後）	+2.67	Tモバイル（調整後）	+1.27
ドイツテレコム	+0.71	アーム	+7.39		
		アーム取引対価未払金	-1.80		
		アーム（調整前）	+5.59		
アセットバック・ファイナンス	-0.48	アセットバック・ファイナンス	-1.26		
ドイツテレコム（調整後）	+0.23	アーム（調整後）	+4.33		

SVF1	+3.29
SVF2	+3.89
LatAmファンド [〃]	+0.94

(注) 2023年9月末時点

*1 調整後SBG単体保有株式価値の各アセット別の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」を参照

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細①

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(a) アリババ	0.01	
調整前	4.60	SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数×同証券の株価
アセットバック・ファイナンス調整	-4.60	複数の株式先渡し売買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（2023年9月30日の同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額（4兆5,985億円）
(b) SBKK	2.67	
調整前	3.24	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.56	SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額等（5,635億円）
(c) SVF1	3.29	SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
(d) SVF2	3.89	SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
(e) LatAmファンド	0.94	LatAmファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分+成功報酬の見込み金額
(f) アーム	4.33	
アセットバック・ファイナンス調整およびアーム取引対価未払金控除前	7.39	SBGの保有株式数×同社株価
アーム取引対価未払金	-1.80	SVF1からのArm株式取得に伴う未払金（120億米ドル）
アセットバック・ファイナンス調整前	5.59	SBGの保有株式数×同社株価 - SVF1からのArm株式取得に伴う未払金（120億米ドル）
アセットバック・ファイナンス調整	-1.26	SBGが保有する同社株式を活用したマージンローンによる借入の負債残高相当額（1兆2,598億円）

(注) 2023年9月末時点

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細②

(兆円)

保有株式		金額	計算方法
(g) Tモバイル		1.27	
	調整前	1.70	SBGの保有株式数（ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数（2023年9月末時点：34,971,809株）を含む）×同社株価 ＋一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値
	アセットバック・ファイナンス調整	-0.43	下記のアセットバック・ファイナンスの決済に必要な金額を控除 ・ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債 ・Tモバイル株式を活用した株式先渡し売買契約（カラー契約）の満期決済金額（同社株価で算出）（4,280億円）
(h) ドイツテレコム		0.23	
	調整前	0.71	SBGの保有株式数×同社株価
	アセットバック・ファイナンス調整	-0.48	2021年10月に実行した同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額（4,806億円）
(i) その他*1		1.73	上場株式：SBGの保有株式数×各上場株式の株価 非上場株式：SBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出 SB Northstar（上場株投資）：SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分＋SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数×同社株価
SBG単体 調整後保有株式価値		18.35	財務編P46からの(a)～(i)までの合計額

(注) 2023年9月末時点

*1 SB Northstarの現金及び現金同等物ならびにマージンローンおよびプライムブローカレッジローン以外の有利子負債はSBG単体純有利子負債と見なして扱い、SB NorthstarのNAVの算出には含めない。
(同社のマージンローンおよびプライムブローカレッジローンの残高は、2023年9月末においていずれもゼロ)

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債

(L) 調整後
SBG単体 純有利子負債^{*1}

1.94兆円

=10.6%

(V) 調整後SBG単体 保有株式価値

18.35兆円

(兆円)

調整後SBG単体
純有利子負債

1.94

連結
純有利子負債

14.68

独立採算子会社等
純有利子負債

4.70

その他調整

8.03

SBKK	+4.54
アーム	-0.30
SVF1	-0.05
SVF2	+0.51

LatAmファンド [〃]	-0.003
その他	-0.003

ハイブリッドファイナンス調整 ^{*2}	+0.37
アセットバック・ファイナンス調整等 ^{*2}	+7.67

(注) 2023年9月末時点

^{*1} 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。PayPay銀行の「銀行業の預金－手元流動性」は含まない。

^{*2} 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細

(兆円)

SBG単体 調整前純有利子負債		9.98	連結純有利子負債 - 独立採算子会社等 ^{*1} の純有利子負債
ハイブリッドファイナンス調整		-0.37	ハイブリッド債およびハイブリッドローンについて、期限付きのものは連結会計上、全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除、永久債については連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入。
アセットバック・ファイナンス調整等		-7.67	
アリババ		-4.94	アリババ株式を活用した複数の株式先渡売買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約）に係る株式先渡契約金融負債（4兆9,404億円）
アーム		-1.26	同社株式を活用したマージンローンによる借入の負債残高相当額（1兆2,598億円）
Tモバイル		-0.42	Tモバイル株式を活用した株式先渡売買契約（カラー契約）に係る株式先渡契約金融負債（4,242億円）
ドイツテレコム		-0.48	2021年10月に実行したドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額（4,816億円）
SBKK		-0.56	SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額等（5,618億円）
SBG単体 調整後純有利子負債		1.94	

(注) 2023年9月末時点

・ 純有利子負債 = 有利子負債 - 手元流動性

・ 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 国債投資

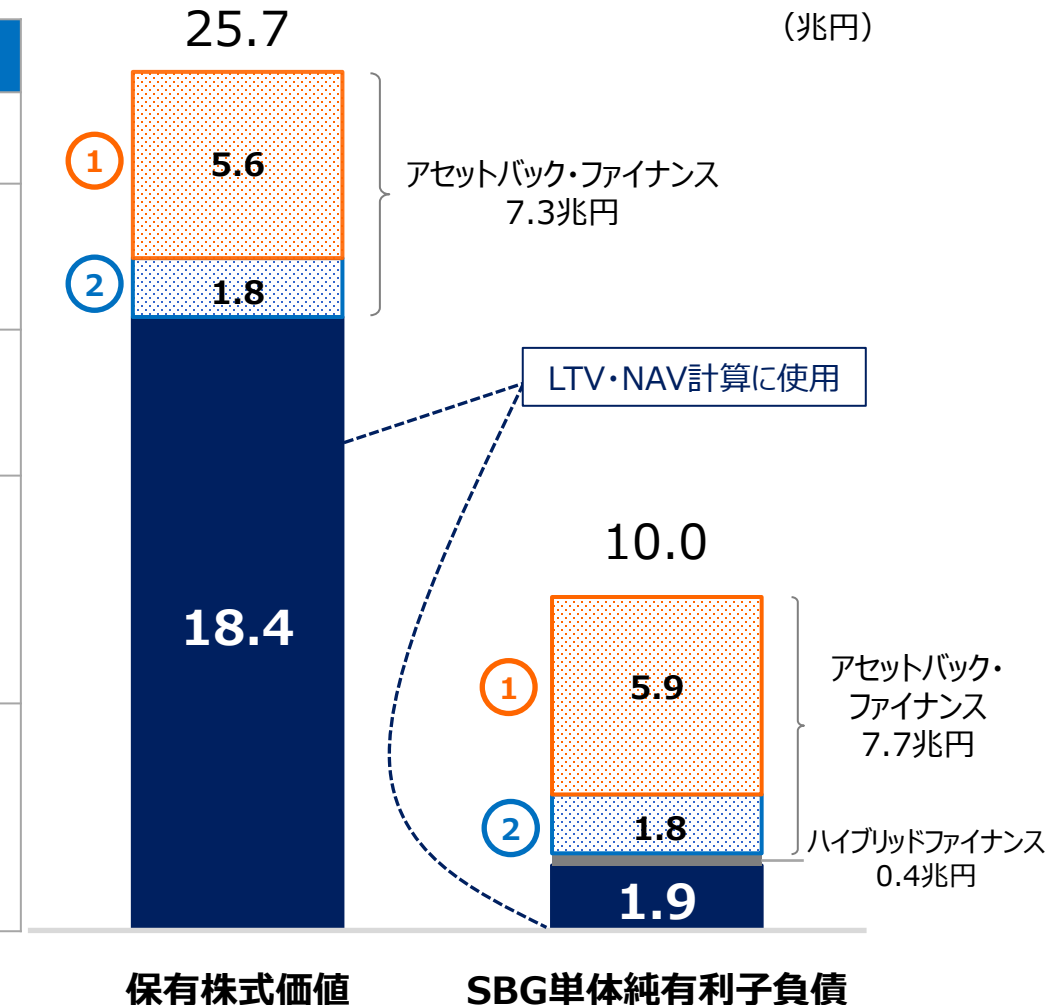
^{*1} 独立採算子会社等はSB Northstarを含む。ただし、SB Northstarの現金及び現金同等物ならびにマージンローンおよびプライムブローカレッジローン以外の有利子負債はSBG単体純有利子負債に含める。

(同社のマージンローンおよびプライムブローカレッジローンの残高は、2023年9月末においていずれもゼロ)

LTV・NAV計算におけるアセットバック・ファイナンス調整

ノンリコースのアセットバック・ファイナンスはデットから控除
同時に、決済に必要なアセット価値をアセットから控除

	① フォワード／カラー／プット	② マージンローン
主な対象株式	アリババ	SBKK／アーム
内容	株式先渡契約 ^{*1} に基づく資金調達（SBGにノンリコース）	株式を担保に借入を行う資金調達（SBGにノンリコース）
デット控除額	・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変	・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変
アセット控除額	・期末株価を基に算出した満期決済金額の想定額 ・株価水準によって変動	返済に必要なアセット相当額（バランスシート上のデット計上額）
株価下落の影響	・フロア価格を下回る株価では受渡金額が減少 ・追加担保等や期限前返済は不要	・一定の株価水準を下回る場合、追加担保や期限前返済が必要 ・返済金額は不変

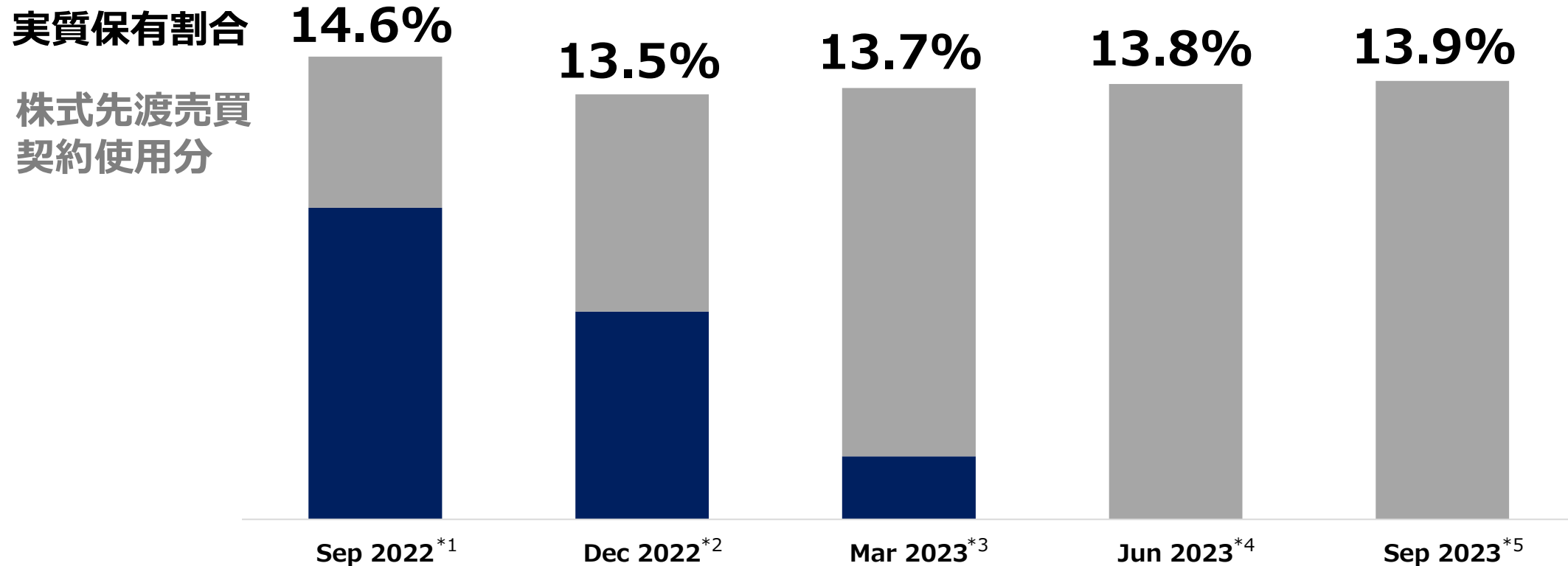


(注) 2023年9月末時点

^{*1} あらかじめ合意された価格（フォワード）または価格レンジ（カラー・プット）で満期に対象株式を売買する契約を締結する。

アリババ株式の実質保有割合推移

株式先渡し売買契約により資金化完了



*1 アリババのForm 20-Fに記載された2022年7月15日の発行済普通株式総数（自己株式を除く）21,185,107,544株に基づき算出

*2 2022年9月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）に基づき算出

*3 2022年12月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）20,680,409,344株に基づき算出

*4 2023年3月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）に基づき算出

*5 2023年6月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）に基づき算出

フォワード取引、カラー取引

目的	デリバティブを活用したノンリコースの資金調達
概要	- 将来時点で、当初合意した価格もしくはレンジで決済する取引 - 株式担保とそれを参照するデリバティブを見合いに資金調達 - 原則、満期において現金と株式による決済のいずれも選択可 - 株価下落で満期時の決済金額が減少、株価上昇で増加する
フォワード取引	- 担保株式を、あらかじめ合意した<u>先渡価格</u>で決済 - 決済価格は、担保株式の株価変動にかかわらず固定。よって将来の株価上昇によるアップサイドは享受できない
カラー取引	- 担保株式を、あらかじめ合意した<u>価格レンジ</u>で決済 - 株価下落時でも、価格レンジ下限で決済可。他方、株価上昇によるアップサイドは価格レンジ上限に限定

連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

連結有利子負債*1

(単位:億円)

	Sep 2022	Dec 2022	Mar 2023	Jun 2023	Sep 2023
SBG単体	120,657	112,500	126,917	140,833	143,358
うち、SB Northstar	-	-	-	-	-
SVF1&2、LatAmファンド	14,811	13,199	13,227	14,199	5,422
ソフトバンク事業	61,350	62,096	61,347	62,406	63,260
その他（アーム等）	1,782	1,652	1,661	1,646	1,898
合計	198,600	189,448	203,152	219,085	213,937

連結手元流動性*2

(単位:億円)

	Sep 2022	Dec 2022	Mar 2023	Jun 2023	Sep 2023
SBG単体	36,374	31,734	45,284	51,713	43,976
うち、SB Northstar	766	356	419	296	406
SVF1&2、LatAmファンド	502	1,026	1,120	1,129	796
ソフトバンク事業	13,925	18,254	17,022	15,348	17,833
その他（アーム等）	6,478	3,661	3,830	3,888	4,510
合計	57,279	54,675	67,255	72,077	67,115

連結純有利子負債*3

(単位:億円)

	Sep 2022	Dec 2022	Mar 2023	Jun 2023	Sep 2023
SBG単体	84,283	80,766	81,633	89,120	99,381
うち、SB Northstar	-766	-356	-419	-296	-406
SVF1&2、LatAmファンド	14,310	12,174	12,107	13,070	4,626
ソフトバンク事業	47,425	43,842	44,325	47,058	45,427
その他（アーム等）	-4,696	-2,009	-2,168	-2,241	-2,612
合計	141,321	134,773	135,897	147,007	146,822

*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。PayPay銀行の銀行業の預金は含まない。

*2 手元流動性＝現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資。PayPay銀行の手元流動性は含まない。2023年6月末より、SBG単体手元流動性にSB Northstar 現金及び現金同等物を含む。
2023年9月末より、国債投資を含む。

*3 PayPay銀行の「銀行業の預金－手元流動性」は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ